JETRO

NAVA
NORDIC ASIAN
VENTURE ALLIANCE



新北欧の
イノベーションエコシステム

目次

はじめに	2
新北欧と欧州のエコシステム	3
イノベーションの柱	6
量子技術	6
半導体	7
先端材料	9
ライフサイエンス	11
クライメートテック	13
新北欧と日本	15
新北欧研究とイノベーションネットワーク	16

はじめに

本報告書は、北欧・バルト地域の大学や学術機関を中心としたテック系イノベーションエコシステムを日本に紹介し、両地域間の新たな協力関係を促進することを目的としています。

この調査は、日本貿易振興機構 (JETRO) との連携のもとに進められました。JETROは日本政府の国際貿易・投資促進機関として、日本企業や投資家が海外のイノベーション環境を理解し、有望なスタートアップやイノベーションハブとつながることを支援しています。この取り組みは、北欧・バルト諸国が技術革新の重要な拠点であり、パートナーシップの可能性に満ちた地域であるという、日本における認識の高まりを反映するものです。

内容は二部構成となっており、**第１部**では、北欧・バルト諸国 (本報告書では「New Nordic (新北欧) 」と表記) の強みについて、そして**量子技術、半導体、ライフサイエンス、先端素材、クライメートテック**といった主要分野を紹介します。

続く**第２部**では、新北欧のスタートアップが誕生する背景となる、世界トップレベルの学術機関、最先端の研究開発施設、活気あるイノベーションハブといったエコシステムの構造的基盤を紹介します。とりわけ、学術研究を商業ベースのベンチャーへと発展させる支援に携わる、**40の主要組織**を取り上げています。

エコシステムの調査を進める中で、学生主導のインキュベーターから複数機関にまたがるプログラムまで、400を超える組織を特定しました。それぞれが異なる役割や目的を担いながら、新北欧のイノベーションエコシステムを支えています。

本報告書では、その中から日本のステークホルダーにとって、将来的な連携の足がかりとなり得るエントリーポイントを厳選し、紹介しています。今後、このリストはさらに拡充されていく可能性もあります。

どれだけ多くの組織が追加されたとしても、報告書の根本的な目的は変わりません。それは、新北欧のテックイノベーションという未知の海域を航海する日本の方々にとっての、最初の道しるべとなることです。

ピーター・ヨハンセン (Peter Johansen)

NAVA 共同創業者、プロジェクトディレクター
Asia House プロジェクト責任者
デンマーク　コペンハーゲン

メール: pj@asia-house.dk

新北欧地域 (2024)

- 8か国
- 人口3300万人
- GDP 2兆ドル (世界銀行 2023)
- 世界第12位の経済大国
- ユニコーン企業 85社 (Dealroom)
- ヨーロッパの人口の6%からヨーロッパのユニコーン企業の6%が生まれている

新北欧と欧州のエコシステム

英国、フランス、ドイツは通常、欧州のテックイノベーション・エコシステムに関心を寄せる世界中のステークホルダーから真っ先に注目される存在です。これら”ビッグ3 "が注目されるのは当然とも言えます。いずれの国も、競争力のある国際的なネットワーク、多国籍企業が集まる都市、大規模な市場と人口と、優秀な人材、そして名門大学による優れた特許実績まで、注目される理由には事欠きません。

財政上でもその優位性は顕著です。2023年に欧州のスタートアップに投資された630億米ドルのうち、英国が約203億ドル、フランスが93億ドル、ドイツが82億ドルを確保したのに対し、スウェーデンは51億ドル、デンマークとノルウェーは合わせて15億ドルにとどまっています (European Tech 2023) 。特筆すべきは、これら欧州のトップランナーへの投資は、ロンドン (68%) 、パリ (56%) 、ストックホルム (94%) 、コペンハーゲン (71%) と、首都圏に集中していることです。ディープテックの分野でも同様の傾向が見られます。2024年には英国、ドイツ、フランスの３か国がVC投資全体の3分の1を占め、ロンドン、パリ、ミュンヘンがその主要拠点となっています (The European Deep tech report 2025) 。

しかし、新北欧地域は、その規模に対して驚異的なイノベーション力を発揮し、今や欧州でも屈指のテクノロジー拠点として頭角を現しています。実際、人口比で見たユニコーン企業の輩出数は、英国を含む他のどの欧州地域よりも高くなっています (Euronews 2024年11月号) 。そして、こうした数十億ドル規模の企業は、新北欧の氷山の一角にすぎません。

その基盤となるのが、世界トップクラスの技術系大学、政府支援の研究プロジェクト、そして学術界と産業界の密接な連携を促進する協調的な文化です。これこそが北欧のテクノロジーの躍進を支える真の原動力であり、大学発のスピンオフ企業が生まれ、成長し、やがてユニコーン企業へと進化するための肥沃な土壌を築いています。本章では、このような新北欧のイノベーションエコシステムの構造的な基盤について詳しく掘り下げていきます。

- **技術人材：** 北欧諸国は、人口比で最も多くのテック系労働力を有する欧州随一の地域です。特にフィンランドは人口100万人当たり15,000人の技術系人材が活躍しています。この強力な人材基盤は、テクノロジー・イノベーションの理想的な原動力となっています。

- **デジタル先進国：**北欧・バルト諸国は、電子政府、オンライン公共サービス、デジタル決済にいち早く乗り出し、世界をリードするフロントランナーです。これは、日本のNECがデンマークの公共部門向け最大手IT企業KMDを買収したことからも明らかです。

- **通信基盤：**北欧地域は5G技術先進地域であり、欧州最高のブロードバンド普及率を誇ります。これにより、次世代イノベーションを支える堅固な通信基盤が形成されており、デジタル技術の導入率も欧州で最も高い水準にあります。この環境は、デジタルソリューションの開発と高度化を加速させる強力な土台となっています。

- **高い英語力：**北欧諸国は世界の英語能力指数で常に上位を占め、国際協力や市場参入時の言語的障壁がほとんどありません。また、テクノロジーに精通した消費者層が多いため、欧州市場進出前のテスト市場としても最適です。

- **日本へのゲートウェイ：**北欧の首都、コペンハーゲン、ストックホルム、ヘルシンキの空港は世界的にも評価が高く、日本航空、ANA、スカンジナビア航空、フィンエアーによる東京直行便が定期的に運航されています。

- **特化したフォーカスエリア：**ロンドン、パリ、ベルリン、ミュンヘンのような欧州の主要都市が広範なテクノロジー分野を網羅しているのに対し、新北欧では分散型のイノベーションエコシステムを形成し、地域ごとに特化した技術領域が育まれています。本報告書では、こうしたテクノロジー領域の分布についての理解を深めることも、大きな目的の一つです。例えば、ライフサイエンスと量子技術はスウェーデンとデンマークが、半導体ではフィンランドとスウェーデンがリードしています。エネルギーと海洋技術ではノルウェーとアイスランドが強みを発揮し、バルト諸国はICT、サイバーとニッチなディープテック分野に特化しています。

- **欧州随一のR&D投資：**新北欧地域の一人当たりの研究開発費は欧州最高水準にあり、フランス、ドイツ、英国の2～3倍ほどに達しています。

- **グリーンテクノロジーの世界的リーダー：**北欧は、再生可能エネルギー、サーキュラーエコノミー、環境配慮型イノベーションを国家戦略に組み込み、持続可能性とグリーン・テクノロジーの分野で長年にわたり世界をリードしています。デンマークは風力エネルギーのパイオニアであり、スウェーデンはグリーンな鉄鋼生産を主導し、フィンランドはバイオエコノミー・ソリューションを推進するなど、地域全体で一貫してカーボンニュートラル、スマートグリッド、グリーンモビリティへの投資が盛んです。これらの取り組みは、政府の積極的な政策支援、官民連携、野心的な気候変動目標によって後押しされ、北欧は世界の持続可能なイノベーションのベンチマークとなっています。

- **インパクト重視：**北欧ではスタートアップ投資の38%がインパクト系スタートアップ向けに行われており、欧州平均22%、米国・アジア (10%未満) と比べても、世界で最もインパクト志向が強い地域と言えます (Dealroom 2023) 。

- **統合型トリプルヘリックスモデル：**北欧のイノベーションエコシステムは、政府・産業界・学術機関が密接に連携する「トリプルヘリックスモデル」を基盤として構築されており、技術革新と持続可能な開発を推進しています。こうした連携によって、先端研究や産業主導のイノベーションが促進されるとともに、デジタル化やグリーンテクノロジー、起業支援のための政策も整えられ、北欧は持続可能で知識集約型の経済で世界をけん引する存在となっています。

- **生まれながらにグローバルなスタートアップ：**新北欧のスタートアップは、欧州の他地域と比べて早い段階から国際展開を目指す傾向があります。これは、国内市場が規模が限られているため、創業当初から海外市場を視野に入れた”ボーングローバル”な思考が根付いていることによるものです。

最後に、新北欧の成功の背景にある、高い信頼関係とフラットな組織構造にも触れておきます (The World Happiness Report 2020など参照) 。こうした一見過小評価されがちな文化的要素こそが、人々が自然に協力し合える、相互につながったエコシステムを育むための本質的な礎となっています。北欧ならではの協働環境によって、地域全体に驚くほどの創造的なシナジーが生まれ、イノベーションは従来の枠組みを越えて力強く発展していけるのです。そこには知識をオープンに共有し、相互扶助のネットワークによって支えられた、極めて生産的なイノベーションの風景が広がっています。

スピンアウトとスタートアップ

スピンアウトは、大学や研究機関から生まれた企業で、研究成果や知的財産を別の商業ベンチャーに移行します。通常、親組織は少数株主として、創業者と共同で会社を運営します。

スタートアップは、起業家が既存の組織との公式な関係なしに独立して立ち上げる企業を指します。スタートアップの創業者は、初期資金や知的財産の全て自ら用意し、完全な所有権を持つのが一般的です。

インキュベーター VS. アクセラレーター

インキュベーターとアクセラレーターはどちらもスタートアップを支援する仕組みですが、その性質は大きく異なります。

インキュベーターは通常、アーリーステージのスタートアップを長期にわたって支援し、メンター制度やワークスペースの提供などが主なサービスとなっています。資金提供を行う場合もありますが、必ずしもするとは限らず、提供する場合は株式との引き換えが一般的です。プログラムは比較的穏やかで柔軟性があり、自分のペースで進めながら、必要に応じてリソースを利用することができます。

アクセラレーターは通常、すでにMVP (minimum viable product ＝ 実用最小限の製品) を持っているか、初期のトラクションがあるスタートアップを対象としています。プログラムは高度に構造化されており、明確なカリキュラムやマイルストーンが設定され、最終的に「デモ・デー」と呼ばれる成果発表の場で締めくくられます。アクセラレーターは、ほぼ例外なくシード資金を株式と引き換えに提供します。プログラム期間中にワークスペースを提供することもありますが、それが主なサービスとは限りません。

イノベーションの柱

本セクションでは、量子技術、半導体、ライフサイエンス、先端素材、クライメートテックという5つの重点分野について詳しく掘り下げます。特に新北欧地域における地域ごとの特化領域に焦点を当て、他の欧州地域や主要ハブとの比較も行います。これらの分野は非常に複雑かつ多層的であるため、各セクションの冒頭では、主要なサブ分野を一覧で紹介しています。尚、分野間には重なりが生じることもあります。本分析では、ディープテックと主流のイノベーションの両方を対象としています。

ディープテック (DEEP TECH)

ディープテックとは、初めて製品や企業に導入される、革新的な科学的・工学的技術のこと。ディープテックは複数の技術分野にまたがりながら、常に進化し続けているのが特徴。ひとたび技術が一般化し、広く普及するようになると、それはもはや「ディープ」とは見なされなくなる。

量子技術

イノベーションの注力領域：

- **量子コンピューティング：**古典コンピュータでは実現困難な、指数関数的に高速な計算の実現
- **量子通信：**量子もつれ（エンタングルメント）と重ね合わせを用いた、安全なデータ通信を確保
- **量子センシング：**古典的手法の限界を超えた超高感度測定の実現
- **量子シミュレーション：**古典的手法ではシミュレーションが難しい、複雑な現象のモデル化
- **量子暗号：**量子コンピュータによる攻撃に耐性のある暗号プロトコルの開発
- **量子材料：**超伝導体、フォトニック結晶、トポロジカル絶縁体など、量子技術を支える素材研究

新北欧の量子エコシステムは、科学的な卓越性、産業界との連携、政府による支援を兼ね備えた、欧州でも有望な量子技術クラスターです。

この地域における量子技術の強みは、ニールス・ボアに代表される豊かな科学的遺産に根差しています。ボアの量子力学における先駆的な研究によって、デンマークは、その黎明期から量子理論の中心地に位置づけました。こうした歴史的な基盤は、現在では産官学が緊密に連携する現代的なエコシステムへと発展しています。

量子技術はまさに最先端技術であり、この分野に取り組むスタートアップはすべてディープテックに分類されます。

デンマークは、コペンハーゲン大学のニールス・ボーア研究所 (NBI) を中心に、新北欧で最も成熟した量子エコシステムを有しています。NBIでは量子コンピューティング、量子通信、量子センシングの分野で世界トップクラスの研究が行われています。また、デンマーク工科大学（DTU）のQuantum DTU research labもエコシステム内にあります。

スウェーデンは、ヨーテボリのチャルマース工科大学に設置されたQuantum Sweden Innovation Platform (p. 32) を中心に、エリクソンなどの企業が量子通信分野の研究に取り組んでおり、産学連携が活発に進められています。

フィンランドは、VTT技術研究センター (p. 35) が量子コンピュータの開発を国家戦略としており、量子ハードウェア分野の有力プレーヤーの地位を確立しています。

ノルウェーでは、トロンハイムのノルウェー科学技術大学（NTNU）とオスロ大学が量子研究の中核を担っており、Gemini Center on Quantum Computing (p. 22) がその基盤となっています。特に、北海や北極圏の過酷な環境に適応した量子暗号や量子通信システムに高い専門性を誇ります。

バルト諸国は量子テクノロジー分野への参入は比較的新しいものの、戦略的な投資を行ってその地位を確立しつつあります。 エストニアはデジタル・ガバナンスの専門性を活かして量子サイバーセキュリティ分野のを研究を推進し、リトアニアは量子アルゴリズム開発に特に力を入れています。

ラトビアは量子テクノロジー分野への参入は比較的新しいものの、戦略的な投資を行ってその地位を確立しつつあります。 エストニアはデジタル・ガバナンスの専門性を活かして量子サイバーセキュリティ分野のを研究を推進し、リトアニアは量子アルゴリズム開発に特に力を入れています。

注目のディープテック・スタートアップ

- Sparrow Quantum (デンマーク) : NBIのQuantum Photonics Labからのスピンオフ。フォトニック量子技術
- Kvantify (デンマーク) : 製薬やバイオテック業界向け量子コンピューティング・ソリューション
- Phase Space Computing (スウェーデン、リンショーピン) : 量子コンピューティングの教育ツール
- Deep Light Vision (スウェーデン、ルンド) : 医療用途向け量子センシング
- Scalinq (スウェーデン) : 量子ハードウェア開発
- Algorithmiq (フィンランド) : 創薬とヘルスケアアプリケーション用の量子アルゴリズム
- IQM Quantum Computers (フィンランド) : VTT技術研究センター。量子コンピューティング向けスケーラブルなハードウェアの構築
- Unitary Zero Space (フィンランド) : 量子サイバーセキュリティ、コンサルティング

半導体

イノベーションの注力領域 :

- **システムオンチップ (SoC) :** 複数のコンポーネントを1つのチップに統合し、小型化と高効率化を実現する技術
- **ファブレス・チップ :** チップの設計を行い、製造は外部に委託するビジネスモデル
- **モノのインターネット (IoT) :** IoT機器に対応した、小型・低消費電力化・高接続性を実現するチップ設計

- **人工知能 (AI)：**AIをチップ設計や製造プロセスに組み込み、プロセスの最適化を図る技術
- **先端材料：**EV車や再生可能エネルギーシステムでの高効率チップ開発に向けた新素材開発
- **5G・6Gテクノロジー：**高速通信ネットワークに対応した、高速データ転送を可能にする半導体設計
- **持続可能な製造：**省エネルギーな製造プロセスを通じて、半導体製造における環境負荷を低減する取組み

新北欧の半導体エコシステムは、産業界と研究機関の強力な連携を特徴としています。世界水準のインフラと、充実した研究開発機関によって技術革新を推進する体制が整っています。こうした産・学の連携基盤が、地域産業の得意分野に特化した半導体応用技術の開発を後押ししています。

一方で、新北欧諸国は、規模、製造インフラ、国際市場での存在感という点で、欧州の他の地域 (特にオランダ、ベルギー、ドイツ、フランス、英国) に比べて後れを取っています。大規模な半導体ファウンドリを持たないことから、チップ製造を外部に依存せざるを得ず、特に製造やプロセスエンジニアリング分野の人材不足が課題となっています。

これに対し、新北欧諸国は、ノキアやエリクソンといった北欧の大企業を活用した通信分野向け半導体、IoT機器、グリーンテクノロジーなど、ニッチな応用分野に焦点を絞り、成果を上げてきました。低消費電力で持続可能な半導体ソリューションに注力していくことは、地域全体が掲げるサステイナビリティ戦略とも合致しています。

半導体技術には、ディープテックに分類される複数の領域が含まれます。例えば、先端マイクロチップ製造 (3〜5nmへの微細化) 、量子半導体、AI統合半導体、ナノマテリアルなど半導体用先端材料、電気 (電子) の代わりに光を使用するデータ伝送フォトニック半導体、バイオテクノロジー分野での半導体応用などが挙げられます。

フィンランドは半導体の研究開発において新北欧諸国で主導的な立場にあり、分散型のエコシステムと国立研究開発機関の積極的な関与が特徴です。通信向けのSoC (5G/6G) 、MEMSセンサー、フォトニクス、量子技術に高い専門性を誇ります。

首都圏のグレーター・ヘルシンキでは、アアルト大学 (p. 28)とVTT技術研究センター (p. 35)が中心的な役割を担い、Micronova と Kvanttinova (p. 29)にはプロトタイピングと開発のための最先端施設や北欧最大のクリーンルームが完備されています。

オウル市は、5G向けSoC設計や6G技術の研究など、通信技術に重点的に取り組んでいます。イノベーションの中心となっているのは、半導体技術、ワイヤレス通信、IoT分野の知見が集まる拠点 Devices and Things Ecosystem (p. 47) です。

タンペレ市は、ASIC (特定用途向け集積回路) 、超低消費電力SoC設計、フォトニックチップなど、チップ設計とフォトニクスに高い専門性を発揮し、SocHub（p. 41）が主要なイノベーションハブです。

スウェーデンは、半導体業界においてフィンランドと並ぶ北欧の主要プレーヤーであり、チップ設計と先端製造の双方にバランスの取れたエコシステムを築いてています。

基幹領域は、自動車向け半導体、パワーエレクトロニクス、フォトニクスで、ルンド大学 (南スウェーデン) 、チャルマース工科大学 (ヨーテボリ) 、KTH王立工科大学 (ストックホルム) が教育、研究、イノベーションハブとなっています。

チャルマース大学は半導体材料と量子技術、特にグラフェン応用の研究で有名です。KTHはマイクロエレクトロニクス、集積回路、省エネチップの分野で先導的な役割を果たしています。ルンドにはナノ科学とナノテクノロジーのスウェーデン最大の研究環境であるNanoLund (p. 21) があり、近年では量子、半導体、材料科学に置ける研究で、数々の優れた成果を上げています。

ノルウェーの半導体エコシステムは、労働人口や収益面ではフィンランドやスウェーデンに及ばないものの、ニッチな分野での生産性やイノベーションでは際立っています。

とりわけ強みを持つのがファブレス設計であり、なかでもブルートゥースやIoTチップなどの低消費電力の無線通信技術に非常に高度な専門性を誇ります。この分野の最大手であるNordic Semiconductorは、世界有数の企業で、同国の半導体分野における付加価値の60%以上を生み出しています。

デンマークはフィンランド、スウェーデン、ノルウェーに比べ半導体分野は小規模で発展途上ですが、エッジコンピューティングとAI統合技術に重点を置いています。ウェアラブル機器、スマートセンサー、IoTシステムなど、小型で高性能のAI搭載デバイスが、医療、スマートファクトリー、自動運転分野などの産業を支えています。

バルト諸国は半導体エコシステム構築の初期段階にあり、**ラトビア**がチップの設計・製造の確立を主導しています。バルト地域はファブレス・モデルを採用し、研究、IP創出、フォトニクスや量子デバイス といったニッチ領域に注力しています。ラトビアでは、リガ工科大学とRTU Science and Innovation Centre (p. 24) が半導体研究開発の推進において中心的な役割を果たしています。**エストニア**はTehnopol Science Park (p. 51) 周辺を中心に、設計および小規模製造の分野で台頭しつつあります。 **リトアニア**はIoTと製造ツールの分野に特化し、台湾との連携が強化されています。

注目のディープ・テックのスタートアップ

- IQM Quantum Computers、Sparrow Quantum、Scalinq (「量子技術」参照)
- NIL Technology (デンマーク) : DTU Science Park。ナノテクノロジーを活用した光学部品
- Low Noise Factory (ヨーテボリ) : 超低ノイズ・アンプ

先端材料



イノベーションの注力領域 :

- **持続可能な材料 :** 環境負荷を低減する環境に優しい材料
- **ナノマテリアル :** ナノスケールで設計された特異な性質を持つ材料
- **高機能触媒 :** エネルギーや化学プロセスの効率を高める触媒
- **軽量材料 :** 高強度かつ軽量化
- **ワイドバンドギャップ半導体 :** エレクトロニクス用先端材料
- **スマートサーフェス :** 多機能かつ応答性に優れた表面材料
- **エネルギー貯蔵材料 :** 革新的な電気化学的蓄電素材
- **フォトニック / 量子材料 :** 光学・量子技術向け材料
- **先端製造 :** 材料と最先端製造技術の統合

新北欧諸国の先端材料エコシステムは、各国の産業的優先分野や長年培われてきた基幹領域を基盤に形成されています。一般に、北欧諸国はグリーン・スチール、バイオベース化学品といった持続可能性を重視した先端材料開発に長けており、バルト諸国はナノテクノロジーやデジタル統合といったニッチな領域に重点的に取り組んでいます。一方、西欧諸国は半導体や航空宇宙向け複合材料など、重工業系応用分野で主導的な立場を築いています。

先端材料のディープテック注力領域には、ナノテクノロジー(バッテリー、浄化、ドラッグデリバリー)、持続可能材料(環境負荷の少ない複合材やコーティング材)、量子材料 (量子コンピューティング、センサー)、先端半導体 (グラフェン・プロセッサー、AIハードウェア)、エネルギー材料 (バッテリー、太陽電池) などがあります。

スウェーデンとフィンランドは、北欧を代表する先端材料開発国であり、**グラフェンの研究**および応用においては電池効率や太陽電池の性能向上に貢献するなど、**世界的にトップクラスの地位**を確立しています。スウェーデンは長年にわたる鉱業の歴史を背景に、重工業の脱炭素化の分野でパイオニア的な存在です。また、広大な森林資源を活かし、包装材やバイオ燃料用のバイオ由来素材の開発にも早くから取り組んでいます。

同国の先端材料に関する主なイノベーションハブには、エネルギー効率の高い電子機器や生物医学ツールのナノスケール研究を推進する NanoLund (p. 21) の最先端研究開発施設と、材料科学における分子構造研究や新しい高機能触媒の開発を可能にする European Spallation Source (ESS) と MAX IV facilities (p. 33) があります。

フィンランドもまた、林業と鉱業の強みを活かし、バイオ燃料の生産や持続可能な繊維向けのバイオ由来材料・触媒（VTT、p. 27, p. 35参照)、電池に不可欠なリチウムやコバルトの持続可能な採掘に特化するなど、グリーンエネルギー移行を支える世界有数のプレーヤーです。

ノルウェーは、エネルギー開発に早くから取り組んでおり、水力発電の蓄電技術をはじめ、電池、熱エネルギー貯蔵の分野でリードしており、SINTEF (p. 42) が再生可能エネルギーシステム向け先端触媒や材料の研究を推進しています。また、海洋国家としての歴史を背景に、同国を代表する工科大学NTNUでは、腐食に強く軽量な船体用の海洋由来のバイオマテリアルや複合材料の開発が進められています。

ライフサイエンスを強みとする**デンマーク**は、ヘルステックやバイオテクノロジー分野でのナノテクノロジーや触媒技術で高い競争力を発揮しています。また、サーキュラーエコノミーにも注力しており、建設業界での環境負荷軽減化の観点から、廃棄物や資源使用を最小限に抑える耐久性・リサイクル性に優れた素材や、バイオ由来プラスチックの技術開発が進められています。

アイスランドは、アルミニウム産業に関連するニッチな技術力と、火山性物質を利用した建築用の持続可能素材の開発において、独自の専門性を有しています。ただし、これらの取り組みは他の北欧諸国と比べると、比較的小規模にとどまっています。

バルト諸国の先端材料エコシステムは、北欧諸国より規模は小さいものの、EUの資金援助とコスト効率の高い研究開発環境に支えられ、急成長しています。北欧諸国が生体適合材料、量子技術、再生可能エネルギー統合に秀でているのに対し、バルト諸国は原材料の加工、ナノテクノロジー、持続可能エネルギー・ソリューションに重点的に取り組んでいます。

注目のディープ・テックのスタートアップ

- ATLANT 3D (デンマーク) : 原子レベルの材料、電子機器製造
- Graphmatech (スウェーデン) : エネルギー貯蔵・電子機器向けグラフェンベース材料
- Luxbright (スウェーデン) : ナノマテリアルを活用した先進X線技術
- MIMSI Materials (スウェーデン) : エネルギー貯蔵と軽量複合材料向けサステナブル素材
- LayerOne Advanced Materials (ノルウェー) : 高品質酸化グラフェンおよび還元型酸化グラフェンの製造
- TioTech (ノルウェー) : リチウムイオン電池アノード用チタニアナノマテリアル
- Naco Technologies (ラトビア) : 電解槽および燃料電池用ナノコーティング

ライフサイエンス

イノベーションの注力領域:

- **バイオ医薬品：**AIと計算生物学を活用した効率的な医薬品開発
- **遺伝子治療：**遺伝子工学による遺伝性疾患の治療
- **合成生物学：**様々な用途に対応する人工生物学的システム
- **ヘルステック：**AIとデータ統合による医療の高度化
- **診断技術：**ナノ／量子技術活用した超高感度ツール
- **再生医療：**幹細胞やバイオマテリアルを用いた組織再生
- **バイオマニュファクチャリング：**生物学的システムを活用した医薬品の大規模製造
- **神経技術：**神経疾患への応用を目指したブレイン・コンピューター・インターフェイス
- **サステナブル・バイオテック：**ライフサイエンス分野におけるエコフレンドリーなアプローチ

デンマークとスウェーデンは、ライフサイエンス分野では北欧の代表国です。その背景には、強力な官民連携、シームレスな医療データの統合、最先端研究機関、専門クラスター、そして自国の大規模な多国籍企業の存在があります。
デンマークはバイオテクノロジー開発で世界第2位、ライフサイエンス分野の人口当たりの雇用数ではEU第3位です。スウェーデンは、欧州で第3位のライフサイエンス輸出国です。

コペンハーゲン首都圏 (グレーター・コペンハーゲン) とスウェーデン南部にまたがるMedicon Valleyは、欧州最大級のライフサイエンス・クラスターです。この地域にはスカンジナビアの製薬産業の60%が集中しており、Novo Nordiskのようなグローバルリーダーを含む350社を超えるライフサイエンス企業が拠点を構えています。Medicon Valleyには、大学9校、病院28か所、ライフサイエンス専門人材65,500人、MAX IV (p. 33)やEuropean Spallation Source (ESS) のような世界トップクラスの研究施設もあります。

デンマークのライフサイエンスクラスターは主にグレーター・コペンハーゲン周辺に集中しており、Novo Nordisk、Genmab、Lundbeck やBavarian Nordicといった国内の大手企業が中核を担っています。近年では、海外の多国籍ライフサイエンス企業からの大型投資も相次いでおり、

特に富士フィルムが31億ユーロを投じて、欧州最大規模の一貫型バイオ医薬品製造拠点をコペンハーゲンに建設中であることは特筆に値します。これは、デンマーク史上最大の海外直接投資とされています。

アーリーステージのイノベーションの多くは、コペンハーゲン北部ホルスホルム (Hørsholm) にあるDTU Science Parkや、Copenhagen Bio Science Park (COBIS) などがあるCopenhagen Science City で進められており、Bio Innovation Institute (p.48) をはじめとする起業家支援プログラムが実施されています。

さらに、デンマークのエコシステムはAIを活用した診断技術や個別化医療などのヘルステック、そして持続可能な製造方法であるバイオマニュファクチャリング分野でも世界で高い評価を得ています。

スウェーデン最大のライフサイエンス・クラスターは、カロリンスカ研究所とウプサラ大学があるストックホルム・ウプサラ地域に形成されています。両大学が学術的な基盤となり、それぞれ強力なイノベーションハブがあります (p.21およびp. 22 を参照) 。

南部には、Lund University Ideon Science Park とMedicon Village を中心とするサイエンス・パークがあり、国内有数のライフサイエンス・インキュベーターであるSmiLe Venture Hub (p. 26) を擁しています。このハブは前述の Medicon Valley の一部として、デンマークと国をまたいだ連携を進めています。

西部のヨーテボリには、第3の主要ハブとして、AstraZenecaのグローバル研究センター、Sahlgrenska Science Park、ヨーテボリ大学を中心とした Swedish Life Science park があります。

最後に、北部のウメオ (Umeå) も、Umeå Biotech Incubatorを中心に、アーリーステージのバイオテックイノベーションの拠点があるライフサイエンスハブとして成長中です。

フィンランドは、北欧のライフサイエンス・エコシステムでは第3位の規模を誇り、特にデジタルヘルス・イノベーションを得意としています。その背景には、臨床、社会福祉、処方に関するデータが完全にデジタル化され、法的にアクセスが認められているという独自の制度が存在します。さらに、個別化医療研究を支える世界トップレベルのバイオバンク・インフラが整備されており、バイオテクノロジー分野でも高い競争力を発揮しています。

ノルウェーでは、先進的な医療制度を基盤として、人工知能 (AI) や医療データを活用した新しいヘルステックの導入が進んでいます。 また、Oslo Cancer Clusterを中心に、研究機関、スタートアップ、医療機関、グローバル製薬企業が連携して癌研究に取り組んでいます。

アイスランドには、小規模ながらバイオテクノロジー・セクターがあり、疾病診断、予防医療、持続可能なバイオテクノロジー・イノベーションなどの分野が成長しています。

バルト諸国のライフサイエンス・エコシステムも、北欧に比べて規模こそ小さいものの、コスト効率の高い研究開発環境、AIなどの新技術を迅速に導入する柔軟性、そして個別化医療やデジタルヘルスへの関心の高まりを背景に、着実に存在感を高めつつあります。そして、運営コストの低さや初期投資回収 (ROI) を重視するスタートアップや投資家にとって、バルト諸国は非常に魅力的な市場と言えます。Life Sciences BalticsのカンファレンスやMedicon Valleyとの連携といった強調的な取組みを通じて、近隣の北欧諸国が強みとする分野を補完する役割も担っています。

北欧における知的財産（IP）所有権 - スウェーデンの例外

新北欧諸国および日本の大学では、研究者が創出した知的財産は大学が保有し、学生は自身の知的財産権を保持するのが一般的です。

これに対し、スウェーデンには「教授の特権 (Professor's Privilege)」と呼ばれる独自の法制度があり、研究者が特許や著作権を含む知的創造物の所有権を持ち、自ら研究成果を商業化することが認められています。

このスウェーデン・モデルには、優秀な研究者の誘致、商業化を意識した研究の促進、研究者と企業の直接的な連携を可能にする、といった利点があります。一方で、複数の関係者が関与する共同プロジェクトでは複雑化を招きやすく、収益配分をめぐる交渉が煩雑になるなどの課題も指摘されています。

クライメートテック



イノベーションの注力領域：

- **人工知能 (AI)：**エネルギー最適化、リサイクル、農業などにおけるデータ駆動型ソリューションの実現
- **スマート・インフラ：**スマートグリッドやモビリティ・インフラ
- **二酸化炭素回収・貯留 (CCS)：**CO_2除去の推進
- **再生可能エネルギーのイノベーション：**エネルギー貯蔵、グリーン水素、分散型エネルギーシステム
- **サーキュラーエコノミーと資源効率：**AIを活用したライフサイクル評価とリサイクル技術による廃棄物削減と資源保護
- **先進原子力エネルギー：**核融合および小型モジュール炉
- **気候レジリエンス・ツール：**超局所的な気象予測のためのAIツール

新北欧地域は、気候変動への対応技術において世界をけん引しています。洋上風力発電、グリーン水素、二酸化炭素回収技術、AIを活用したエネルギーシステムといった分野で先駆的な取り組みを展開し、脱化石燃料社会への移行を加速させています。また、北欧は一人当たりのクライメートテック投資額が欧州で最も高く、2015年以降、欧州全体のクライメートテック投資の30%がこの地域に集中しています。投資分野は輸送、エネルギーに加え、ブルーエコノミー (海洋経済) やカーボンテックなど、新たな領域にも拡大しています。(出典：Dealroom: Nordic Impact Startups - 2023)

この進展を支えているのは、大胆な気候目標、官民による強固な連携、そして地域全体で展開されている革新的な技術です。新北欧諸国では、各国に分散してCoE (Center of Excellence) が形成されています。

デンマークは再生可能エネルギー分野における世界的なリーダーです。2024年には、電力の82%が再生可能エネルギーで賄われ、そのうち55%は風力発電によるものでした。また、世界の洋上風力タービンの80%以上にデンマーク製の部品が使用されています。近年では、Power-to-X技術の開発が進められており、2025年3月にはKassøプラントでeメタノールの生産が開始されました。同施設は今後本格稼動すれば、世界最大規模の商業用Power-to-X施設となる見込みで、三井物産が49%を出資しています。

さらに、スマートグリッド技術と再エネ統合の分野でも欧州をリードしており、変動性エネルギー統合率はEUで最も高く、スマートグリッド関連プロジェクトの数はEU内で2番目の規模に達します。
エネルギー技術に関する主要なイノベーションハブには、デンマーク工科大学 (GreenUp Accelerator (p.19) を含む) と オールボー大学 (AAU Innovate (p. 52) を含む) があります。

スウェーデンは、多様な持続可能エネルギー分野で高い実績を持ち、次世代原子力技術、特に小型モジュール式原子炉と先進設計の領域で欧州のイノベーションを牽引しています。また、同国の強みは、産業および自動車分野の基盤を活かしたバッテリー技術、エネルギー貯蔵、持続可能な輸送といった分野にも広がっています。主要なイノベーションハブにはKTH Innovation (p. 25) やヨーテボリのチャルマース工科大学 (p. 39) が挙げられます。

フィンランドは欧州で最も意欲的な「2035年までのカーボンニュートラル達成」を目標に掲げています。2023年には非化石燃料由来の電力が92%に達し、温室効果ガス排出量も前年比で10%削減されました。また、バイオエネルギー分野の世界的先進国として、輸送用バイオ燃料やバイオベースの暖房システムなど、バイオマスをエネルギーに変換する高度な技術開発を進めています。

ノルウェーでは電力の92%が水力発電によって供給されており、2023年には新車販売台数の82%をEV (電気自動車) が占めるなど、非常に高い普及率を記録しています。また、二酸化炭素回収・貯留 (CCS) およびグリーン水素の分野では、欧州最高水準の技術力を誇り、CCS分野では25年以上の実績に基づき、1996年以降、3,000万トン以上のCO2を回収しています。主要な研究機関にはノルウェー科学技術大学 (NTNU) と産業科学技術研究所 (SINTEF) が挙げられます。

アイスランドは、電力と暖房のほぼ100%を、主に地熱と水力による再生可能エネルギーで賄っており、欧州における再エネ活用の最前線にいます。豊かな火山資源を活かし、欧州最大の地熱発電所を有するほか、地熱エネルギーを暖房や発電に利用する先駆的な取り組みでも知られています。さらに、二酸化炭素回収・貯留 (CCS) の分野でも先進的で、世界最大規模の直接空気回収 (DAC) プラントが稼働しています。

バルト諸国では近年、グリーン水素やデジタルクリーンテックといった、先進技術に特化したクライメートテック系スタートアップが急増しており、エネルギーおよびクライメートテック分野は同地域における最大の投資領域となっています。中でも**エストニア**は、クライメートテック・スタートアップへの一人当たりの投資額で欧州トップの地位を占めています。同国が特に力を入れているのは、デジタル投資ソリューションやカーボン・オフセット市場、そしてカーボンクレジットなどです。

注目のディープ・テックのスタートアップ

- Heart Aerospace (スウェーデン) : 持続可能な飛行を実現する電気航空機の開発
- H2 Green Steel (スウェーデン) : 環境に配慮した製鉄プロセスによる鉄鋼業
- SaltX Technology (スウェーデン) : 排出削減を可能にするプラズマベースのセメント技術
- Skeleton Technologies (エストニア) : 先進エネルギー貯蔵技術
- Sunly (エストニア) : 再生可能エネルギー発電
- Elcogen (エストニア) : 燃料電池と水素発電ソリューション
- UP Catalyst (エストニア) : CO2排出を活用した持続可能なバッテリー材料開発

新北欧と日本

新北欧と日本には多くの共通点があります。生活水準が高く、技術先進国です。教育水準も高い一方で、高齢化という共通の課題にも直面しています。文化的にも似通った美意識を持ち、日本人の多くが北欧のシンプルさ、クラフトマンシップ、上質な素材へのこだわりに共感を持っており、北欧製品はブランド価値の高いものとして広く受け入れられています。

そして、ここで重要なのは、北欧のテック・エコシステムも、日本の「Society 5.0ビジョン」と深く合致しているという点です。両者の強みを活かし合える戦略的なパートナーシップを通じて、北欧は日本にとって極めて特別な連携相手となり得ます。北欧では、人がテクノロジーに合わせるのではなく、「人間中心にテクノロジーを設計する」という考え方が根付いています。これは、Society 5.0 が目指す理念そのものです。また、北欧の強みであるグリーンテック分野では、再生可能エネルギー、サーキュラーエコノミー、持続可能な都市開発において実証済みのソリューションを生み出しており、Society 5.0の環境重視の方向性とも重なります。さらに、ヘルステックや高齢者福祉における北欧の先進的な取り組みは、高齢化社会という課題を抱える日本にとって、大きな示唆を与えるものでしょう。

同様に、日本もまた、北欧のテック・エコシステムにとって強みを補い合いながら国際競争力を高めてくれる、極めて重要なパートナーです。ロボティクス、材料科学、自動車技術における日本のリーダーシップは、北欧が得意とするクリーンテック、デジタルヘルスケア、UXデザイン分野を見事に補完してくれるでしょう。さらに、日本の精密なものづくりの技術は、北欧のイノベーターにとって、ハードウェア開発における世界レベルの量産体制を可能にし、北欧が誇る品質を確保する強い後ろ盾となっています。

英国、フランス、ドイツが規模で勝る一方で、北欧諸国の特長は、イノベーションの効率、日本の持続可能性目標との戦略的整合性、そして実効性の高いパートナーシップの構築力にあります。最先端のディープテックや持続可能なソリューション、そして協調型エコシステムを重視する日本の投資家にとって、北欧は実績に裏打ちされた、まさに戦略的フロンティアといえる存在なのです。

新北欧地域はまた、透明性の高い規制環境、効率的な技術移転システム、厳格な知的財産保護、一人当たりの特許成果の高さ、そして持続可能性とディープテックへの高い志向性など、数多くの特性を兼ね備えています。加えて、政治・経済の安定、ワークライフバランスの価値を重視する文化のもとで、柔軟な働き方や育児休暇制度が整っており、人々が疲弊することなく、創造的思考が自然に芽生える土壌が育まれています。

本報告書の作成にあたり、日本貿易振興機構 (JETRO) からいただいた貴重なご支援と専門的な知見に、心より感謝いたします。このパートナーシップを通じて、日本と新北欧地域の間に革新的な連携が生まれ、持続的な相互の発展と成功を分かち合える、新たな道がひらかれていくことを心より願っています。

新北欧研究とイノベーションネットワーク

本セクションでは、新北欧地域において学術研究を商業イノベーションへと発展させるために積極的かつ重要な役割を果たしている主要40組織を紹介しています。対象となるのはサイエンスパーク、イノベーションハブ、アクセラレーター、インキュベーターなど、イノベーションを支えるエコシステム全体を代表する組織です。多くの組織がディープテック、クライメートテック、半導体、ライフサイエンスなどの分野に特化しています。
各組織の情報は、体系的なデータ・事業内容・イノベーションエコシステムにおける役割など、簡潔に1ページにまとめられています。またアジア、特に日本に関連がある組織も紹介しています。

インパクト

各組織が達成した具体的な成果をまとめています。主な指標には、輩出したスピンアウト企業の数、調達投資額、関与した研究者などが挙げられます。インパクト・データの性質は、組織のタイプや情報開示の方針によっても異なります。複数年にわたる累積的なインパクトを示す数字もあれば、単年度の成果を反映する数字もあり、それぞれ具体的に明記しています。

主要パートナー

各組織と支援・協力関係にある主要なパートナーを紹介しています。特に、日本をはじめとするアジア諸国のパートナーについては重点的に取り上げています。

ランキング

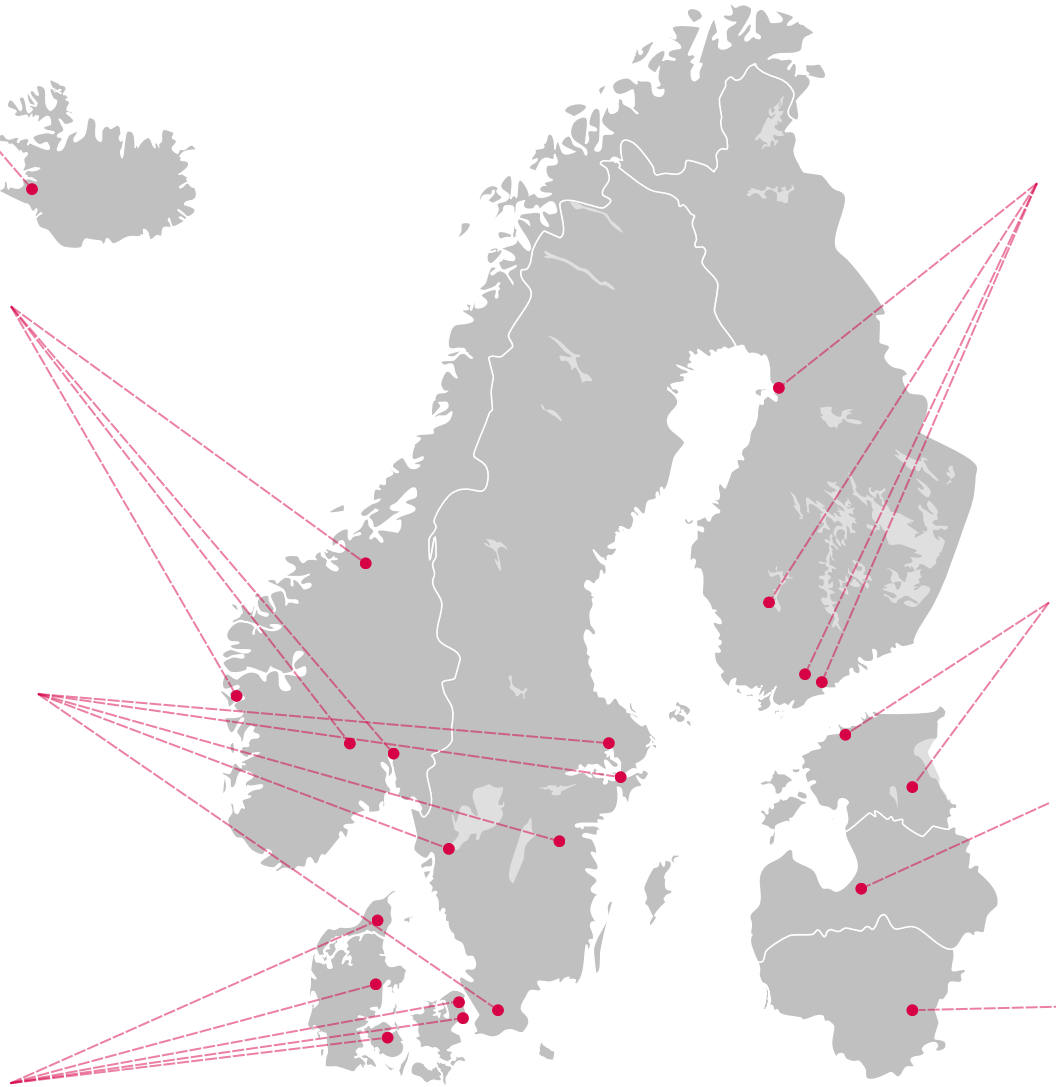
各組織の学術的成果は、2種類の大学ランキング「**The Nature Index 2024**」と「**The Times Higher Education 2025　産業部門**」で示されています。

The Nature Index 2024は、STEM（科学、技術、工学、数学）分野のイノベーションにおける大学の貢献度を評価する際に特に有用な指標です。これは権威ある学術誌への論文掲載、被引用数、研究協力など、具体的な科学的成果を基準に評価しているためです。

一方で、他のランキングと比較すると対象範囲は広いものの、全ての大学が網羅されているわけではありません。また、特許、産業界との提携、スタートアップ創出など、研究成果が実際のイノベーションにどれほど結びついたかは評価対象にはなっていません。

そこでこの点を補うためにThe Times Higher Education（THE）2025の指標を組み合わせています。THEは、世界的に広く利用されている包括的な大学評価指標で、評価基準も多岐にわたります。イノベーションや起業を直接評価するものではありませんが、その中の「産業」部門で評価される、大学のイノベーション創出、産業界との連携、研究成果の商業化に関する0〜100のスコアを本報告書の指標として取り入れました。

新北欧研究とイノベーションネットワーク地図



アイスランド

- KLAK Icelandic Startups, レイキャビク

ノルウェー

- Kongsberg Innovasjon, コングスベルグ
- Gemini Center on Quantum Computing, オスロ & トロンハイムを含む複数の拠点
- SINTEF, トロンハイム
- StartupLab, オスロ & ベルゲン

スウェーデン

- KTH Innovation, ストックホルム
- KI Innovasjons, ストックホルム
- MAXESS Industry Arena, ルンド
- Nanolund, ルンド
- SmiLe, ルンド
- LEAD, リンシェーピング
- Wallenberg AI, Autonomous Systems and Software Program, リンシェーピング
- Chalmers Ventures, ヨーテボリ
- Quantum Sweden Innovation Platform, ヨーテボリ
- Uppsala Innovation Center, ウプサラ

デンマーク

- Bio Innovation Institute (BII), コペンハーゲン
- DTU Skylab, リュンビュー
- GreenUP Accelerator, リュンビュー
- Danish Tech Challenge, リュンビュー
- Deeptech Alliance, リュンビュー
- Odense Robotics, オーデンス
- INCUBA, オーフス
- AAU Incubate, オールボー

フィンランド

- Helsinki Incubators, ヘルシンキ
- Maria01, ヘルシンキ
- VTT Technical Research Centre of Finland, エスポー
- VTT LaunchPad, エスポー
- Aalto Startup Center, エスポー
- Kvanttinova, エスポー
- SocHub, タンペレ
- The Devices and Things Ecosystem, オウル

エストニア

- Sparkup - Tartu Science Park, タルトゥ
- Tehnopol, タリン

ラトビア

- RTU Science and Innovation Centre, リガ
- Unilab, リガ

リトアニア

- Sunrise Valley Science and Technology Park, ヴィリニュス
- Baltic Sandbox, ヴィリニュス

DTU SKYLAB

所在地
Lyngby, DENMARK

所属大学
Technical University of Denmark (DTU)

組織カテゴリー
イノベーション・ハブ

注力分野

Deeptech
Life Science
Engineering
Robotics
Hardware

連絡先

Mirwais Fedai
Program Manager

メール
mirfe@dtu.dk

ウェブサイト
skylab.dtu.dk

事業内容

DTU Skylabは、デンマーク最大かつ最も権威ある工科大学のイノベーションハブ。施設は5,500m²のラボ、ワークショップ、講堂、プロジェクトスペースなど、学際的な学習環境が整っている。また、ディープテック系スタートアップや起業前のプロジェクトを対象とするソフトファンディング、ビジネスアクセラレーション、プロトタイピング支援を行う。

さらにはスタートアップ・インキュベーター、ライフサイエンス・アカデミー、欧州ベンチャー・プログラム、メンタリング制度、スタートアップに特化したコースがあり、イノベーションを促進し、多様な分野のスタートアップの成長を支援する。

特に着目しているのは持続可能テクノロジー、バイオテクノロジー、AI/機械学習、ロボティクス、ヘルステック、クリーンエネルギー・ソリューションで、ハードウェア開発、デジタル・ファブリケーション、持続可能な素材のイノベーションに関する専門施設が充実し、専門知識が集結している。

ランキング

99.8
THE: Industry

#46 / 496
Nature Index

実績

2024年
- 新規スタートアップ設立：120社
- 支援スタートアップ：399社
- 視察団訪問：64団体
- 企業との共同プロジェクト：46件
- 欧州の技術系大学ランキング(EngiRank 2024)：228校中第1位

主要パートナー

- デンマークの公益財団 10社以上
- 日本気象株式会社 (JMC)

GREENUP ACCELERATOR

所在地
Lyngby, DENMARK

所属大学
Technical University of Denmark (DTU)

組織カテゴリー
アクセラレーター

注力分野

Climatetech

連絡先

Signe Blad Johnsen
COO

メール
sbj@dtusciencepark.dk

ウェブサイト
dtusciencepark.com

事業内容

GreenUP Acceleratorは、CO2削減に取り組むクライメートテック系スタートアップを対象とした、デンマークで最も意欲的、最強の成長支援プログラム。毎年100社以上の応募の中から30社のみが1週間のブートキャンプ参加資格を得る。その後、15社が4ヶ月間のスタートアップ・フェーズへ、そして最終的に8〜12社が16ヶ月にわたるのテイラーメイドのスケールアップ・コースに進める。

参加者は、最大で100万DKKの資金提供に加え、75時間以上の1対1のメンタリングを受けながら、持続可能で革新的なソリューションの開発に取り組み、平均で1700万DKKの資金を調達している。これまでにプログラムを修了したスタートアップの100%が事業を継続中である。

ランキング

99.8
THE: Industry

#29 / 496
Nature Index

J-BRIDGE NAVA

実績

- 欧州の工科大学ランキング：1位/228校中 (EngiRank 2024)
- 年間のスタートアップ応募数：100社
- 選抜される会社：15社
- 20か月のプログラム完了：8〜12社
- 修了スタートアップの事業継続率：100%
- 1社あたり平均雇用創出：14名
- 1社あたり平均調達額：1,700万DKK

主要パートナー

- Industriens Fond

HELSINKI INCUBATORS

所在地
Helsinki, FINLAND

所属大学
University of Helsinki

組織カテゴリー
イノベーション・ハブ

注力分野

- Deeptech
- Microprocessors
- Cleantech
- Climatetech
- Life Science

連絡先

Mikael Malmivaara
Head of Community relations

メール
mikael.malmivaara@helsinki.fi

ウェブサイト
networks/helsinki-incubators

事業内容

Helsinki Incubatorsは、ヘルシンキ大学での学術研究の商業化を推進する上で重要な役割を担っている。セクター別に様々な事業領域に特化したインキュベーターやアクセラレーターを通じて、起業家やアーリーステージの企業に幅広い支援サービスを提供している。主なプログラムには NEXUS (ディープテック&AI) 、BIOSPHERE (サステナビリティ) 、TREMOR (ソーシャルインパクト) 、Health Incubator Helsinki & SPARK Finland (ヘルスイノベーション＆研究プロジェクト) 、Helsinki Education Hub (エドテック) などがある。

また、パートナーとともに地域のイノベーションと経済成長の促進に貢献してきた結果、ヘルシンキは「世界の新規スタートアップのエコシステムトップ20」および「エコシステムのパフォーマンス」で欧州4位にランクインしている。

ランキング

68.2
THE: Industry

#48 / 496
Nature Index

J-BRIDGE NAVA

実績

(2022年以降)

- 支援チーム数：400以上
- インキュベータープログラム実施数：25以上
- 新規企業の設立：80社以上
- 修了スタートアップ企業の総調達額：1,000万€以上
- メンター：130名以上
- メンター国籍：20か国以上
- 研究ベースの企業：40%
- 女性創業者の割合：51%
- 多国籍創業者：68%

主要パートナー

- 東大IPC
- Deloitte Tohmatsu Venture Support
- City of Helsinki
- Maria01
- Nokia

NANOLUND

所在地
Lund, SWEDEN

所属大学
Lund University

組織カテゴリー
イノベーション・ハブ

注力分野

Deeptech

Microprocessors

Cleantech

連絡先

Anne Nielsen
Center Coordinator

メール
anne.nielsen@ftf.lth.se

ウェブサイト
nano.lu.se

事業内容

NanoLundは、スウェーデン最大のナノ科学とナノテクノロジーの研究拠点。近年、量子科学、半導体、材料科学の分野で画期的な研究成果を多く生み出しており、ナノワイヤー太陽電池では世界最高の変換効率を達成している。

同センターは、国際的な共同研究 および 産学連携 に積極的に取り組んでおり、特に化合物半導体、窒化物材料、ナノバイオテクノロジー の分野に強い。主な研究分野にはパワーエレクトロニクス、ワイヤレス/RFデバイス、オプトエレクトロニクス、バイオテクノロジー向けマイクロ流体技術 などがある。

また、最先端の研究施設「Lund Nano Lab」 を備え、学術界および産業界の研究者が利用可能なオープンアクセス型のクリーンルームナノファブリケーションおよび計測施設 を提供している。産業界との連携を通じたイノベーション促進にも注力し、数多くのスピンオフ企業の創出に貢献している。

ランキング

99.8
THE: Industry

#29 / 496
Nature Index

J-BRIDGE NAVA

実績

- 研究資金調達：2億7900万SEK (スウェーデンクローネ)
- 研究グループ：56
- 博士課程学生：130人
- 2023年発表論文：462本
- 2009年以降のERC (欧州研究会議) 助成獲得数：21件
- スピンアウト企業総数：31社
- 2000－2020年の学術特許出願済スタートアップ創出:
  欧州トップ大学25校のうち第3位 (欧州特許庁調べ)

主要パートナー

- 東京大学
- 京都大学
- 筑波大学
- 理化学研究所　放射光科学研究センター (RSC)
- 豊田工業大学

GEMINI CENTER ON QUANTUM COMPUTING

所在地
Trondheim, NORWAY

所属大学
NTNU, University of Oslo, SINTEF

組織カテゴリー
リサーチプログラム

注力分野

Deeptech

Microprocessors

連絡先

問い合わせ先
Contact form

ウェブサイト
quantumcomputing.no

事業内容

Gemini centreは、ノルウェーを代表する量子テクノロジー・プログラムで、量子コンピューティングの理論的および実用的な発展の両面に取り組んでいる。産業との強い連携を維持しながら基礎物理学、アルゴリズム開発、工学的ソリューションを融合する、量子研究における統合的アプローチを特徴とする。

同センターを主導するのは、欧州最大級の独立研究機関である産業科学技術研究所 (SINTEF) で、ノルウェー科学技術大学 (NTNU) を拠点としている。公的研究資金、最先端の学術知識、産業界とのパートナーシップを組み合わせることで、商業的応用が期待される先端技術の発展を促進する「北欧型イノベーション・モデル」の代表例といえる。

ランキング

#110 / 496
Nature Index
NTNU

#42 / 496
Nature Index
University of Oslo

J-BRIDGE NAVA

実績

- 特になし

主要パートナー

- SINTEF (2020)
- Simula Research Laboratory (2021)
- University of South-Eastern Norway (2024)
- OsloMet (2024)



SPARKUP

所在地
Tartu, ESTONIA

所属大学
University of Tartu

組織カテゴリー
サイエンスパーク

注力分野

- Deeptech
- Life Science
- Cleantech
- AI
- Spacetech

連絡先

Pirko Konsa
Member of
Managament Board

メール
pirko.konsa
@teaduspark.ee

ウェブサイト
teaduspark.ee

事業内容

Sparkup Tartu Science Park (TSP) は、バルト三国初のサイエンス・ビジネスインキュベーターとして設立され、科学・技術を基盤とする起業支援において重要な役割を果たしている。インキュベーション・プログラムの提供やオフィスや研究施設を備えたビジネス・キャンパスの整備だけでなく、アーリーステージのディープテック企業にネットワーキングの機会を提供し、科学・革新的技術、ビジネス界の架け橋として支援している。

TSPのアクセラレータープログラムからは、AIを活用した創薬、マイクロバイオーム研究、サステナブルな材料開発などの分野で画期的なイノベーションが生み出されている。近年の成功事例にはがん診断、抗菌材料、精密医療アプリケーションなどが挙げられる。

代表的な輩出企業は、抗生物質を使用しないタンパク質生産技術を開発したGearbox Biosciencesや、mRNAベースのがん免疫療法のVectiopep。

ランキング

64.3
THE: Industry

#173 / 496
Nature Index

J-BRIDGE NAVA

実績

- 2018年以降のポートフォリオ・スタートアップ：84社
- 現在活動中のスタートアップ：26社
- 180万ドルの直接的な非希薄化 (Non-dilutive) 資金をスタートアップに提供
- ビジネスキャンパス内の科学・技術系企業：70社以上

主要パートナー

- Tartu City Government
- Estonian University of Life Sciences
- Tartu County
- sTARTUp Day festival
- Enterprise Estonia
- European Space Agency (ESA)
- NATO DIANA Program
- Startup Estonia
- AI & Robotics Estonia (AIRE)
- Health Founders Estonia Accelerator

RTU SCIENCE AND INNOVATION CENTRE

所在地
Riga, LATVIA

所属大学
Riga Technical University

組織カテゴリー
イノベーション・ハブ

注力分野

Deeptech

Microprocessors

連絡先

Liene Briede
Vice Rector for Innovations

メール
liene.briede@rtu.lv

ウェブサイト
rtuzic.lv

事業内容

The RTU Science and Innovation Centreはディープテックのイノベーションと商業化を推進するハブ。バルト地域屈指の設備を誇るプロトタイピングラボがあり、産業界のパートナー、スタートアップ、起業家、学生に対し、高付加価値の製品開発や実社会に影響を与える技術ソリューションの創出を支援している。さらに、スーパーコンピューターの利用環境も充実しており、最先端の研究や高度な計算能力を活用した技術開発が可能である。

2024年にはシリコンフォトニクス分野で画期的な技術革新を実現し、エネルギー効率に優れた光変調器を用いて世界記録となる170Gビット/秒のデータ伝送速度を達成した。

本センターは、バルト地域のディープテック・エコシステムの中心的な存在で、バルト三国最大の科学技術集約型イベントである「Deep Tech Atelier」会議を共同主催している。またEIT Deep Tech Talent Initiativeにも参加し、ディープテック分野のスキル開発を推進している。

ランキング

52.6
THE: Industry

該当なし
Nature Index

J-BRIDGE NAVA

実績

- 特になし

主要パートナー

- 2024年: 日本で先端電気通信研究所 (ATR) との提携協定の締結
- 2024年: けいはんなグローバルアクセラレーションプログラムプラス (KGAP+) 参加

KTH INNOVATION

所在地
Stockholm, SWEDEN

所属大学
KTH Royal Institute of Technology (KTH)

組織カテゴリー
イノベーション・ハブ

注力分野

Deeptech

Life Science

Cleantech

連絡先

Viktor Olsson
Internationalisation lead

メール
viols@kth.se

ウェブサイト
kth.se

事業内容

KTH Innovationは、欧州屈指のスタートアップハブの一つ。スウェーデンを代表する工科大学、KTH (王立工科大学) の学生や研究者向けのイノベーション支援を行っている。サービスは無料かつ機密保持が保障されており、ディープテック分野のアーリーステージの技術革新にテイラーメードで支援する。ビジネス開発コーチング、知的財産 (IP) 管理、資金調達、人材確保支援などに加え、オフィススペースの提供やベンチャービルディング支援を行うプログラムも実施する。

独自のイノベーションモデル「KTH Innovation Readiness Level™」 は、世界各国の数百以上の組織で活用されている。また、スタートアップと産業界のマッチングやネットワーキングイベントを主催し、より広範なイノベーションエコシステムの発展に貢献している。日本との関係も深く、研究協力、学生・スタートアップの交流を活発に行っている。 2020年には、「Brighter」プログラムを東京にも拡大し、アジア初の拠点を設立した。

ランキング

97.3
THE: Industry

#77 / 496
Nature Index

J-BRIDGE NAVA

実績

- 年間に創出される新規アイデア：400件
- 2007年以降支援したアイデア：累計5,000件以上
- ディープテック分野のアイデアの割合：30%
- SDGsへの貢献を目指すチーム：85%
- 事業継続中の会社：450社以上

主要パートナー

- 東京大学
- Rise Europe
- Global Change Award

SMILE VENTURE HUB

所在地
Lund, SWEDEN

所属大学
Lund University / Medicon Village

組織カテゴリー
インキュベーター

注力分野

Life Science

Foodtech

連絡先

Thomas Unt
Deputy CEO

メール
thomas.unt
@smileventurehub.com

ウェブサイト
smileventurehub.com

事業内容

スウェーデンのルンドにあるMedicon Villageに拠点を置くライフサイエンス分野の主要なインキュベーターSmiLeは、ルンド大学とも密接に連携している。バイオテクノロジー、製薬、医療技術、ヘルスケアソリューションのアーリーステージ企業の支援に重点を置き、専門的なインフラ、事業開発、業界とのネットワーク構築などの支援を行う。

ヨーロッパ屈指のライフサイエンス・クラスターとして、学術研究を実用化して企業へと発展させる重要な役割を果たしている。2024年にはフィナンシャル・タイムズ紙とスタティスタによって欧州の主要スタートアップ・ハブの一つに選ばれている。

また、スタートアップの派遣団への積極的な参加や定期的なBioJapanへの訪問を通じ、日本との深く継続的な関係を築いている。

ランキング

99.8
THE: Industry

#29/ 496
Nature Index

J-BRIDGE NAVA

実績

- 研究施設総面積：1,700㎡
- 最先端設備のコア研究施設：12
- スタートアップ輩出：115社
- ベンチャーキャピタル総額：10億€
- 製品化を果たしたスタートアップ：40%
- 事業拡大中のスタートアップ：82%
- IPO上場企業：21社

主要パートナー

- Region Skåne
- Lund市
- Agilent Technologies
- Zacco
- Merck

VTT LAUNCHPAD

所在地
Espoo, FINLAND

所属大学
VTT Technical Research Centre of Finland

組織カテゴリー
インキュベーター

注力分野

- Deeptech
- Cleantech
- Quantum
- Spacetech
- Life Science

連絡先

Lotta Partanen
Head of Incubation and Acceleration

メール
Lotta.partanen@vtt.fi

ウェブサイト
vtt-launchpad

事業内容

VTT LaunchPadはフィンランドを代表するディープテックインキュベーター。最先端の科学研究を商業ベンチャーへと導き、過去10年間で50社を超える科学系のスタートアップ企業を輩出している。

2019年以降、バイオテクノロジー、量子技術、クリーンテックなど幅広い分野でイノベーションを育成し、「量より質」を重視したアプローチにより、スピンオフ企業13社を誕生させている。2024年にはフィナンシャル・タイムズ紙が選ぶ「欧州の主要なスタートアップ・ハブ」の1つとして認められ、HTM Solutionをはじめとする著名なスタートアップ企業を輩出するなど、フィンランドの技術分野の発展に大きく貢献している。

研究者、技術者、ビジネスエキスパートや投資家を繋いで、科学的発見から市場での成功へと導く橋渡し役を担い、フィンランドのイノベーション・エコシステムのグローバル化に貢献している。

ランキング

#107 / 125
Top Startup Centers in Europe
(Financial Times, 2024)

J-BRIDGE NAVA

実績

- 2019年以降設立されたスピンオフ企業：13社
- スピンオフ企業による資金調達額 (2019～2023年)：4億8,000万€
- フィンランドのスタートアップ全体におけるエクイティ資金調達の割合：8.5%
- 過去10年間に輩出したスタートアップ：50社以上
- スタートアップの国際資金調達額 (2013～2022)：5億3,600万€

主要パートナー

- 三菱電機(Direct Ocean Capture 技術の共同研究開発 2024年10月開始)
- Aalto University
- European Space Agency (ESA)
- General Electric (GE)
- Xanadu (量子コンピューティング分野)

AALTO STARTUP CENTER

所在地
Espoo, FINLAND

所属大学
Aalto University

組織カテゴリー
イノベーション・ハブ

注力分野

- Deeptech
- Life Science
- Cleantech
- AI
- Spacetech

連絡先

Tai Tran
Startup Ecosystem Coordinator

メール
tai.tran@aalto.fi

ウェブサイト
startupcenter.aalto.fi

事業内容

Aalto Startup Centerは、世界的に知られるビジネス・イノベーション・ハブ。27年以上にわたってアーリーステージのテック系および研究ベースのスタートアップを支援し、Rovio (Angry Birdsの生みの親) やFuturiceなど、多くの有名スピンオフ企業を輩出してきた。

持続可能なテクノロジーを軸に、クリーンテック、スペーステック、ディープテック分野のイノベーションを推進する。その中でも人間中心の生活環境、エネルギー・ソリューション、テクノロジー主導のスタートアップに重きを置く。

またアクセラレーター・プログラムを数多く運営し、その成果が高く評価され、大学拠点のビジネス・アクセラレーターとして世界トップ3に選出された。支援するスタートアップの80%を持続可能なビジネスに導くなど、フィンランドのスタートアップ・エコシステムの発展に重要な役割を果たしている。2021年にはUBI Globalより世界的なパンデミックに対する貢献が高く評価され、特別表彰を受けた。

ランキング

88.2
THE: Industry

#93 / 496
Nature Index

J-BRIDGE NAVA

実績

- 運営実績：27年以上
- 大学系ビジネスアクセラレーター (2022年、UBI Global調査)：世界トップ3
- 大学系ビジネスアクセラレーター (2019年)：世界トップ5
- 600社以上の輩出企業による3,200名以上の雇用創出 (2022年時点)
- 輩出企業の年間総売上：6億3,000万€超 (2022年)
- スタートアップの持続可能なビジネス構築支援成功率： 80%

主要パートナー

- Business Finland
- City of Helsinki
- Metropolia
- European Space Agency
- European Innovation Council
- Team Finland

KVANTTINOVA

所在地
Espoo, FINLAND

所属大学
Aalto University

組織カテゴリー
イノベーション・ハブ

注力分野

Deeptech
Microprocessors
Quantum

連絡先

Tomi Salo
Co-Creation Manager

メール
tomi.salo
@kvanttinova.fi

ウェブサイト
kvanttinova.fi

事業内容

Kvanttinovaは、フィンランドの最先端マイクロエレクトロニクスおよび量子技術の試験・開発のハブ。2027年の設立に向け、クリーンルームの共同利用、企業専用の実験室、小規模製造向け試作ラインを備え、商業化前の研究やイノベーションのスケールアップに特化していく予定だ。

また北欧最大のクリーンルームであるMicronovaと統合されており、研究段階から生産までの開発サイクル全体を支援する。研究開発とスケールアップに向けた独自の商業化前の開発用施設と試作ラインを用意するなど、企業が技術を発展・改良できる環境が整う。

Kvanttinovaは1億3,000万ユーロの資金を基に、フィンランドのマイクロエレクトロニクスと量子産業における地位の強化、学術・産業・研究機関同士の連携を促進している。

ランキング

88.2
THE: Industry

#93 / 496
Nature Index

J-BRIDGE NAVA

実績

- 1億3,000万ユーロの開発資金確保 (2024-2027年)
- 北欧最大の研究用クリーンルーム「Micronova」を3倍に拡大

主要パートナー

- VTT Technical Research Centre
- Aalto University
- City of Espoo
- 業界のステークホルダー

KI INNOVATIONS

所在地
Stockholm, SWEDEN

所属大学
Karolinska Institute

組織カテゴリー
イノベーション・ハブ

注力分野

Life Science

連絡先

Johan Weigelt
CEO

メール
johan.weigelt
@kiholding.se

ウェブサイト
karolinskainnovations.ki.se

事業内容

KI Innovationsは、ストックホルムにある世界有数の医学研究大学であるカロリンスカ研究所のイノベーション支援システム。同研究所はノーベル生理学・医学賞の選考機関としても広く知られている。カロリンスカ研究所の科学的知見を、患者や社会に貢献できる有望なスタートアップへと発展させることを使命とする。その領域はラボテック、メドテック・ソリューション、新規治療法の開発など、生物医学工学全般にわたる。

当イノベーションハブには、プレ・インキュベーターとビジネスインキュベーション/アクセラレーターの2つのプログラムがある。後者はライフサイエンス系スタートアップ向けに3年間のプログラムを提供し、事業開発コーチング、知的財産 (IP) アドバイス、投資家ネットワークへのアクセスなどを通じて成長を支援する。プログラムを修了したスタートアップは、修了生ネットワークの一員として、新たに「KIファミリー」となるスタートアップへの指導や支援に携わる。また、 KI Science Parkと密接に連携しており、会員は最先端のライフサイエンスのコミュニティに参加できる。

ランキング

95.9
THE: Industry

#10 / 496
Nature Index

J-BRIDGE NAVA

実績

- イノベーション分野 (SCImago Institutions Rankings 2024) : 北欧第2位
- ライフサイエンス＆医学分野 (QS World University Rankings 2024) : 欧州第5位 / 世界第10位
- 臨床医学、細胞生物学、免疫学、薬理学・毒性学分野 (U.S. News & World Report Best Global Universities 2022) : 欧州第10位/世界第20位

主要パートナー

- 理化学研究所
- 東京大学
- 首都大学東京

UPPSALA INNOVATION CENTER

所在地
Uppsala, SWEDEN

所属大学
Uppsala University

組織カテゴリー
イノベーション・ハブ

注力分野

Deeptech
Climatetech
Materials
Life Science

連絡先

Wing Cheng
Program Manager

メール
wing.cheng@uic.se

ウェブサイト
uic.se

事業内容

Uppsala Innovation Centre (UIC) は、スウェーデン屈指のビジネス・インキュベーターとして知られ、各業界の起業家、研究者、イノベーターを対象に、個別にカスタマイズされたビジネス開発プログラムを提供している。

UICに所属するスタートアップは Uppsala Science Parkを拠点に、活発なエコシステムの一員として、資金調達の機会やベンチャーキャピタル、財政支援プログラムだけでなく、Uppsala University HospitalやUppsala Biomedical Centreといった主要機関へのアクセスを得る。

UICの特徴は、他のインキュベーターとは異なり、支援企業の所有権を持たず、純粋に事業開発支援に専念する点にある。そのため、利害関係で対立することなく、客観的な助言と指導ができる。この独立性を重視したモデルはUICの高い成功率を導き、プログラム修了企業の10社中9社が現在も事業を継続中であることにも反映されている。

ランキング

96.1
THE: Industry

#19 / 496
Nature Index

J-BRIDGE NAVA

実績

- フィナンシャルタイムズ「欧州の主要スタートアップ」：トップ30
- UBIグローバル「世界トップ公共ビジネスインキュベーター」第5位
- 2004～2024年に評価したビジネスアイデア：4000件
- 支援したスタートアップ：1400社
- 企業向けに確保したベンチャーキャピタルおよび公的資金：100億SEK
- 創出した総評価額：14億SEK
- プログラム参加のスタートアップ：年間80社

主要パートナー

- AWA Asia
- MIRAI 2.0

QUANTUM SWEDEN INNOVATION PLATFORM

所在地
Gothenburg, SWEDEN

所属大学
複数の大学が参加

組織カテゴリー
多機関連携プログラム

注力分野

Deeptech

Microprocessors

Quantum

連絡先

Hannes Eder Öhrström
Business development

メール
hanneseo@kth.se

ウェブサイト
qsip.se

事業内容

Quantum Sweden Innovation Platform (QSIP)は、スウェーデンを量子技術のイノベーションと商業化における世界的リーダーとして確立することを目的とした2023年11月発足の国家プロジェクト。ヨーテボリを拠点にVinnovaの資金提供のもと、複数の学術機関やイノベーションオフィス、産業界によって運営されている。

QSIPは、学術界・スタートアップ・産業界の連携の促進や、最先端の量子研究の実用化に重点を置いている。主な取り組みとしては、国家的な量子イノベーション戦略の策定、研究の概念実証(PoC)段階への進展支援、知識交換の促進、国際的な量子技術プロジェクトとの連携などが挙げられる。

統一されたエコシステムを構築し、量子コンピューティングや暗号技術のような変革的技術分野におけるスウェーデンの競争力を加速させることを目指している。

ランキング

該当なし
(複数の大学が参加)

J-BRIDGE NAVA

実績

- 特になし
  (2023年11月より運営開始)

主要パートナー

- RISE
- Chalmers Industriteknik
- GU Ventures
- KTH
- Lund University
- Linköping University
- Ericsson

MAXESS INDUSTRY ARENA

所在地
Lund, SWEDEN

所属大学
複数の大学が参加

組織カテゴリー
多機関連携プログラム

注力分野

Deeptech

Microprocessors

Quantum

連絡先

Magnus Larsson
Head of Industrial Relations

メール
magnus.larsson
@maxiv.lu.se

ウェブサイト
sciencevillage.com

事業内容

MAXESS Industry Arenaは、ルンド市にある二つの大規模研究施設「ESS」「MAX IV」と産業界の連携を促進するために設立された、スウェーデン国家のプラットフォーム。MAX IVは、物質を原子レベルで研究するための シンクロトロン光源を備え、ESSには世界最強の中性子源が設置され、材料科学やバイオテクノロジーにおける画期的な研究を可能にしている。

また、産業界と研究者、研究機関、サービスプロバイダーをつなぐウェブポータル (maxess.se) を提供し、海外のステークホルダーにとってMAX IVやESSをはじめとする国内の大規模研究インフラ (LSRI) との国際共同研究にとって理想的なエントリーポイントとなっている。このプラットフォームでは、マッチング支援、教育プログラム、パイロットプロジェクトの提供を通じて、産業界がLSRIを効果的に活用できるよう支援している。また、シンクロトンや中性子を活用した技術に強みを持つ多数の企業の橋渡しも行っている。

ランキング

該当なし
(複数の大学が参加)

J-BRIDGE NAVA

実績

- 特になし
  (2023年11月より運営開始)

主要パートナー

- RISE
- Chalmers Industriteknik
- GU Ventures
- KTH
- Lund University
- Linköping University
- Ericsson

STARTUPLAB

所在地
Oslo & Bergen, NORWAY

所属大学
独立した機関

組織カテゴリー
インキュベーター、
アクセラレーター、
インベスター

注力分野

AI
Cleantech
Climatetech
Engineering
Mobility

連絡先

Gisle Østereng
Head of Ventures

メール
gisle@startuplab.no

ウェブサイト
startuplab.no

事業内容

StartupLabはノルウェー最大のテック系インキュベーター、そして最も積極的なアーリーステージ投資家。将来有望なベンチャー企業に12週間のアクセラレータープログラムを提供し、10万～50万米ドルのプレシード投資を行う。これまでにOncoimmunity (2019年に日本のNECが買収)や、ユニコーン企業となったKahoot！やreMarkableなどの成功企業を支援してきた。2025年には2千万ユーロ規模の「Startuplab Founders Fund V」の資金調達を完了したことを発表した。

特定の大学と直接提携はしていないが、オスロ大学のキャンパス内に拠点を置き、SINTEF (*ノルウェーの産業科学技術研究所) やノルウェー科学技術大学 (NTNU) との連携を通じて、研究主導のイノベーションをエコシステムに統合している。また、業界特化型支援プログラムを通じて、大学の研究者や学生と企業パートナー、投資家、メンターを繋ぎ、研究プロジェクトの商業化を後押しすることで、学術界と産業界の橋渡し役を担う。

ランキング

#5 / 14

(ノルウェーに拠点を置くスタートアップアクセラレーター、インキュベーター、VCらのうち (The Incubator List, 2024))

J-BRIDGE NAVA

実績

- テック系スタートアップの創出・支援：500社以上
- 投資実績：190件以上
- 会員企業：常時110社以上
- アクセラレータープログラム修了：120社以上
- 5年間の生存率：85%
- 欧州有数のスタートアップ拠点 (Financial Times, 2024年)

主要パートナー

- ノルウェー最大規模の企業、大学、研究機関
- ノルウェー政府
- Elkem ASA (グリーンテック)
- DLA Piper
- StartupLab 投資家ネットワーク

VTT TECHNICAL RESEARCH CENTRE

所在地
Espoo, FINLAND

所属大学
独立した機関

組織カテゴリー
イノベーション・ハブ

注力分野

Deeptech
Cleantech
Quantum
Microprocessors
Materials
Robotics

連絡先

Kirsi Kotilainen
Solution Sales Lead
Sanna Öörni
Business Development Manager

メール
kirjaamo@vtt.fi
sanna.oorni@vtt.fi

ウェブサイト
vttresearch.com

事業内容

VTT Technical Research Centreは、北欧最大の公的な応用研究機関として知られるフィンランドを代表するディープテック・イノベーション・ハブ。2022年のフィンランドのディープテック企業全体の14%はVTTのスピンオフ企業であり、総投資額の36%に当たる調達を達成した。

2,300人を超えるスタッフが、材料、エネルギー、産業システムなどの幅広い分野で技術革新を推進し、特にAI、量子コンピューティング、ロボティクス、合成生物学などの新興技術に注力する。

これまでに参加した欧州の研究開発プロジェクトは1000件以上。Kvantinnovaなどの新興スタートアップ向けの高度なインフラ支援の他、100%国営の非営利団体としてVTT LaunchPadアクセラレーター (専用ページを参照) を運営する。

ランキング

#4
European Research Ranking
(EU Horizon 2020) 成功度

J-BRIDGE NAVA

実績

- 2023年の純売上高：1億8,800万€
- 2013～2022年にVTTのスピンオフ企業が調達した資金 ：5億2,600万€ (フィンランドのスタートアップ全体への投資額の8.2% に相当)
- 2019～2023年にVTTのスピンオフ企業28社が調達した資金 ： 4億8,000万€ (フィンランドのスタートアップ全体のエクイティ資金調達額の8.5% に相当)
- 2023年 発明開示件数：195件

主要パートナー

- 日立: シリコンフォトニクスおよび光データ転送コンポーネントの開発・商業化 (2018年)
- シンガポール国立量子オフィス (2023年)
- 三菱電機 : Direct Ocean Capture (DOC) 技術 の開発 (2024年10月)

DANISH TECH CHALLENGE

所在地
Lyngby, DENMARK

所属大学
Technical University of Denmark (DTU)

組織カテゴリー
アクセラレーター

注力分野


Microprocessors


Engineering


Materials


Life Science


Deeptech


Climatetech


Cleantech

連絡先

Signe Blad Johnsen
COO

メール
sbj@dtusciencepark.dk

ウェブサイト
vttresearch.com

事業内容

Danish Tech Challenge (DTC) は、ハードウェア・スタートアップに特化したデンマークを代表するアクセラレーター・プログラムで、ディープテックを中核とするDTU Science Parkによって運営されている。2014年の設立以来、300社を超えるスタートアップや最先端の製品を支援してきた。修了生はこれまでに総額28億DKK以上の資金を調達し、1,500人以上の雇用を創出している。

本プログラムは、ヘルスケア、気候、持続可能性、サイバーセキュリティなどの分野を対象としており、特にディープテック関連のスタートアップが多く参加している。4か月間の厳しい育成プロプログラムを経て最優秀賞に選ばれた企業には50万DKKの賞金が授与される。ハードウェアやディープテック系のスタートアップはソフトウェア系に比べ長期的に資金調達が求められることから、DTCは継続的な支援を行い、それが修了企業の高い存続率につながっている。

ランキング

99.8
THE: Industry

#46 / 496
Nature Index

J-BRIDGE NAVA

実績

- スタートアップ支援：220社以上
- スタートアップの3年以上の生存率：83%
- 参加スタートアップによる特許出願数：200件
- 修了企業の国際市場進出率：67%
- 修了企業の資金調達総額：28億DKK

主要パートナー

- DTU Science Park
- Jyske Bank

DEEPTECH ALLIANCE

所在地
Lyngby, DENMARK

所属大学
DTU (Technical University of Denmark)

組織カテゴリー
アクセラレーター

注力分野

Life Science
Engineering
Cleantech
Deeptech
Materials

連絡先

Jakob Heiberg
Partnership manager

メール
jakob
@deeptechalliance.org

ウェブサイト
deeptechalliance.org

事業内容

DeepTech Allianceは、欧州の主要なディープテック・エコシステムをつなぐゲートウェイとして、有力なイノベーションハブや有望なスタートアップを世界各地の投資家や産業界リーダーと結びつけ、科学主導のイノベーションを加速するための国を超えた連携を推進している。

現在、13か国で14か所のイノベーションハブを展開し、2026年までに20か所に拡大していく予定。毎年1万社以上のスタートアップの中から800社を地域のアクセラレーションプログラムに選定し、そのうち特に有望なスタートアップのみがアライアンスのビジネス創出プログラムへと進む。

デンマーク産業財団の支援を受けて2018年にDTU Science Parkによって設立された。2021年以降、400件以上のマッチングメイキングを実施し、これまでにスタートアップと企業間で123件のコラボレーションを実現させてきた。欧州のディープテックエコシステムを統合し、デンマークを欧州イノベーションの中心的な拠点へと押し上げている。

ランキング

99.8
THE: Industry

#46 / 496
Nature Index

J-BRIDGE NAVA

実績

- 欧州のベンチャー企業の評価件数：年間10,000社以上
- 欧州のスタートアップおよびスケールアップ企業の参加：165社
- 大手グローバル企業の参加：46社
- スタートアップと企業間のマッチングメイキング：893件
- スタートアップと企業のコラボレーション成立：185件
- 企業間のコラボレーション：132件

主要パートナー

- Hello Tomorrow (フランス)
- ETH Entrepreneurship (スイス)
- PoliHub Innovation Park & Startup Accelerator (イタリア)
- THINGS (スウェーデン)
- Kongsberg Innovation (ノルウェー)
- The Collider/Mobile World Capital Barcelona (スペイン)

UNILAB

所在地
Riga, Latvia

所属大学
RTU x LU x RSU x LBTU

組織カテゴリー
インキュベーター、
アクセラレーター

注力分野

- Life Science
- Cleantech
- Climatetech
- Defence / Dualtech

連絡先

Andris Baumanis
Member of the Management Board

メール
andris@unilab.lv

ウェブサイト
unilab.lv

事業内容

UniLabはラトビアを代表するディープテック・アクセラレーターで、ラトビアの4大研究大学である、 リガ工科大学 (RTU) 、ラトビア大学 (LU) 、リガ・ストラディンシュ大学 (RSU) 、ラトビア生命科学技術大学 (LBTU) のリソースを活用している。

ヘルスケア、持続可能なモビリティ、防衛技術の分野において科学と技術を駆使したビジネスアイデアを支援し、2013年の設立以来、50社以上のスターアップを輩出している。

2024年にはスカンジナビアの最大のアクセラレーション・ファンド「Accelerace」と提携し、ディープテック系スタートアップ向けの投資ファンドを設立。現在は提携先である日本企業MDI Coropration (本社: 神奈川県) が日本市場顧客向け窓口となっている。

ランキング

54
THE: Industry
University of Latvia

52.6
THE: Industry
Riga Technical University

J-BRIDGE NAVA

実績

- 2020年以降6期にわたり、53のスタートアップを支援

主要パートナー

- NATO DIANA Program (2025年)
- ラトビア国防省
- ラトビア国防アカデミー
- MDIコーポレーション (日本、2024年)
- Accelerace (2024年)
- Delta ES Co (韓国)
- Latvian Business Angels Network
- Investment and Development Agency of Latvia (LIAA)

CHALMERS VENTURES

所在地
Gothenburg, SWEDEN

所属大学
Chalmers University of Technology

組織カテゴリー
インキュベーター、
インベスター

注力分野

Deeptech

連絡先

Ana-Maria Popescu
Head of Venture Creation

メール
ana.maria.popescu
@chalmersventures.com

ウェブサイト
chalmersventures.com

事業内容

Chalmers Ventureは、スウェーデンを代表するディープテック向けインキュベーターおよび投資機関。大学のインキュベーターとしては、常に世界のトップ10にランクインしている (UBI世界ランキング2022年、1895機関中)。

技術、ライフサイエンス、産業イノベーション を中心に、アーリーステージの企業を支援し、インキュベーション＆アクセラレーションプログラム、メンタリング、ネットワーキング、シード資金の提供を行う。企業1社あたりにつき最大2,500万SEKの投資が可能であり、EXITによるリターンは再びスタートアップ支援に還元している。

毎年10～20社の新規企業をインキュベートし、その80%がヨーテボリのチャルマース工科大学と関連を持つ。2022年現在、主にディープテック、インパクト、サステナビリティ領域を中心に103社のアーリーステージのスタートアップに2億7000万SEKを投資している

ランキング

94.6
THE: Industry

#109 / 496
Nature Index

J-BRIDGE NAVA

実績

- チーム支援 (2015年～) : 550以上
- スタートアップの創出・投資 : 200社以上
- 新規スタートアップのインキュベート : 毎年10～20社
- ポートフォリオ総額 : 4億8,800万SEK (2024年5月時点)
- 投資枠 : 9,000万SEK (2024年)※2022年は5,000万SEKから増額

主要パートナー

- Chalmers Next Labs
- Chalmers Innovation Office
- Chalmers Industriteknik
- Fraunhofer-Chalmers Research Centre for Industrial Mathematics
- 外部投資家

BALTIC SANDBOX

所在地
Vilnius, LITHUANIA

所属大学
独立した機関

組織カテゴリー
インキュベーター、
インベスター

注力分野

Deeptech

Life Science

連絡先

Kate Shiian
COO

メール
kat@balticsandbox.com

ウェブサイト
balticsandbox.eu

事業内容

Baltic Sandbox は、ディープテックおよびライフサイエンス分野に特化した、バルト地域を代表するスタートアップ・アクセラレーター。グローバル展開に必要なリソース、メンタリング、資金調達などについて、これまでに300社以上のスタートアップを支援している。

ニーズに応じたアクセラレーション、インキュベーション、ハッカソンプログラムを用意し、起業家が直面する資金調達、事業開発、知的財産保護、市場ニーズとの適合、新市場参入、規制対応などの主要課題を支援。また、投資家、専門家、研究機関とスタートアップを結びつけ、技術革新を促進する協力的なエコシステムを構築している。

さらに、姉妹組織であるベンチャーキャピタル企業「BSV Ventures」 は、EU諸国内のディープテックおよびライフサイエンス分野において、とりわけ北欧・バルト地域のプレシードおよびシードステージのスタートアップへの投資を積極的に行っている。

ランキング

該当なし
(独立した機関)

J-BRIDGE NAVA

実績

- スタートアップへの資金調達支援：23社
- 資金調達額：累計700万€、企業評価額は最大20倍に成長
- プログラム参加応募：700件以上
- スタートアップ支援：300社以上
- 地域のアーリーステージ・スタートアップを支援する特別プログラム（Startuolis）の実施

主要パートナー

- 欧州連合 (EU)
- ILTE, Lithuanian Government Agency
- AWS Startup Program
- Vilnius University
- Lithuanian University of Health Sciences
- VilniusTech
- FTMC

SOC HUB

所在地
Tampere, FINLAND

所属大学
Tampere University

組織カテゴリー
多機関連携プログラム

注力分野

Microprocessors　Life Science

連絡先

Suvi Lammi
Co-creation Specialist
at Tampere University

メール
suvi.m.lammi@tuni.fi

ウェブサイト
sochub.fi

事業内容

SoC Hub は、 SoC (System-on-Chip) 設計に特化したフィンランドの共創エコシステム。同国の半導体分野におけるイノベーションとコラボレーションを推進し、国内にとどまらず国際的な連携の拡大を視野に入れている。また、SoC開発の主要プレイヤーを結集し、アプリケーションの要件からチップ設計に至るまでSoC設計の専門性を強化することで、高度なSoC設計技術への需要の高まりに対応している。

さらには6G、AI、画像処理、セキュリティー向けSoC開発を念頭に、EUレベルの専門クラスターの確立を目標としている。毎年1つのチップを設計してテープアウトし、研究とコラボレーションの実践的な成果を実証することを本プロジェクトの重要な方針の1つとしている。チップ製造においてはTSMC社と積極的に連携している。

ランキング

93.5
THE: Industry

#148 / 496
Nature Index

J-BRIDGE NAVA

実績

- 2021年以降開発された先進的なSystem-on-Chip (SoC) : 3件
- 今後のチップ設計では12nmおよび7nm技術を採用予定
- 大学ー企業間の独自のコラボレーションモデル

主要パートナー

- Nokia
- Business Tampere
- Business Finland
- TSMC
- IC-Link
- CoreHW
- VLSI Solution
- TTTEch Flexibilis
- Procemex
- Wapice
- Hiab

SINTEF

所在地
Trondheim, NORWAY

所属大学
独立した機関、
Norwegian University of Science and Technology

組織カテゴリー
イノベーション・ハブ

注力分野

Life Science
Deeptech
Cleantech
Marinetech
Materials
Smart city

連絡先

Nathalie Labonnote
Innovation and Research Manager

メール
nathalie.labonnote@sintef.no

ウェブサイト
sintef.no

事業内容

SINTEFはヨーロッパ最大級の独立研究機関で、ノルウェーのテクノロジー・エコシステムの中核的存在。多分野の研究者2,000人以上が在籍し、技術革新のための応用研究に取り組んでいる。ノルウェー科学技術大学 (NTNU) と緊密に連携し、北欧全域の産業界、スタートアップ、公的機関とのパートナーシップを強化している。

主な研究分野は、ノルウェーの歴史的な海洋産業の背景を反映する気候テック、材料科学、海洋テックなど。インキュベーションおよびアクセラレーション・プログラムを提供する他、シード／アーリーステージのベンチャーファンドを通じて資金提供も行う。

また日本の浮体式洋上風力技術研究組合 (FLOWRA) 、水素材料研究に関する九州大学とNTNU合同の15年にわたる共同研究、同志社大学や名古屋工業大学をはじめとする複数の大学との連携など、日本と強力な研究パートナーの関係を築いている。

ランキング

該当なし
(複数の大学が参加)

J-BRIDGE NAVA

実績

- 売上高: 42億NOK
- 2023年の研究所およびインフラへの投資額：3億NOK
- 発表論文数：6,200本
- 公開レポート数：1,950本
- 知識普及活動の総数：6,246件
- 過去10年間で創出されたスタートアップ企業：80社
- ディープテック系スタートアップ17社の総収益1億NOK

主要パートナー

- University of Oslo
- Equinor
- Technical University of Denmark (DTU)
- Hydro
- Moelven

KLAK ICELANDIC STARTUPS

所在地
Reykjavik, ICELAND

所属大学
独立した機関

組織カテゴリー
イノベーション・ハブ、
アクセラレーター

注力分野

Life Science

Marinetech

Cleantech

連絡先

Freyr Friðfinnsson
International Project Lead at KLAK

メール
freyr@klak.is

ウェブサイト
klak.is

事業内容

KLAK Icelandic Startupsは、アイスランドで最も重要かつ国際的なスタートアップ・エコシステム組織。1999年の創設以来、国内の起業シーンに不可欠な存在だ。2023年にはアイスランドのテクノロジー産業は25%の成長を記録している。

KLAKは、アクセラレータープログラム、メンターシップネットワーク、投資家とのコネクションの提供など、アイスランドの起業家がアイデアを実現可能なビジネスに発展させるための支援を行う。国内市場が小規模なアイスランドでは、スタートアップが成長するためには、創業当初から国際展開を視野に入れることが不可欠。特にアイスランドが強みを持つ分野は、気候テック、ライフサイエンス、海洋テック、ゲーミングなどが挙げられる。

またKLAKは年間3-4件のビジネスアクセラレーターを運営運営し、毎年開催される起業家コンペティション、MIT大学との連携によるメンターシップを実施。さらに、海外の主要なスタートアップコミュニティとの連携を強化し、海外投資家の誘致を進めることで、スタートアップ企業の資金調達支援にも注力している。

ランキング

欧州トップ150の
スタートアップ・ハブ
(Financial Times、Statista、 Sifted 2025年)

J-BRIDGE NAVA

実績

- スタートアップ支援：年間70〜80社
- 助成金およびプロ投資家からの資金調達額 (2022年)：10億ISK
- 運営資本の6倍に相当するリターンを実現
- 126名の経験豊富なアイスランド人起業家および専門家がメンターとして参画

主要パートナー

- University of Iceland
- Reykjavík University
- The New Business Venture Fund (政府系投資ファンド)
- Ministry of Environment, Energy, and Climate
- City of Reykjavík
- Global Accelerator Network

MARIA 01

所在地
Helsinki, FINLAND

所属大学
独立した機関

組織カテゴリー
イノベーション・ハブ

注力分野

Life Science

Cleantech

Deeptech

連絡先

Anni Anttonen
COO

メール
anni@maria.io

ウェブサイト
maria.io

事業内容

Maria 01は、フィンランドを代表するスタートアップ・キャンパスであり、新北欧地域最大級のスタートアップ・ハブ。多数のスタートアップ、ベンチャーキャピタル、エコシステム支援団体が居を構え、以下のようなアクセラレーターやインキュベーターを擁している： Urban Tech Helsinki Incubator 、 Nordic ScaleUp Academy 、 Nordea Investor Speed Dating 、 Konecranes Accelerator、Valkea Growth Club for Digital Clean Energy Ventures、テクノロジーとデザインに焦点を当てたShortcutプログラムなど。

本ハブでは、海外起業家や視察団の受け入れにも積極的だ。日本のステークホルダーとの連携も強く、これまでに日本関連のイベントも定期的に多数開催している。直近ではSusHi tech 2024に参加し、CEOのSarita Runeberg氏がパネリスト兼基調講演者として登壇した。またNordicNinja VCの本社もMaria 01にある。

ランキング

該当なし
(独立した機関)

J-BRIDGE NAVA

実績

- 敷地：20,000㎡
- スタートアップ：180社
- 資金調達 (2023年)：6億€
- パートナー企業: 23社
- 投資家ネットワークメンバー：22人
- 敷地の拡張：2030年までに70,000㎡へ
- 予定受入れスタートアップ：600社
- 予定総売上高: 150億€

主要パートナー

- City of Helsinki
- Nordea
- Danske Bank
- Nordic Ninja VC
- SLUSH

INCUBA

所在地
Aarhus, DENMARK

所属大学
Aarhus University

組織カテゴリー
サイエンスパーク、
多機関連携プログラム

注力分野

Life Science
Deeptech
Climatetech
Cleantech
Defence / Dualtech

連絡先

Camilla Dalsgaard Larsen
Director of Community, Communications & Acceleration

メール
cdl@incuba.dk

ウェブサイト
incuba.dk

事業内容

INCUBAはオーフスを代表するサイエンスパークおよびイノベーションハブ。 Microsoft、Crowdstrike、 Blockdaemonなどのグローバルテック企業がR&D拠点を置いている。

IT/テック、クリーンテック、ライフサイエンスの3つの領域をカバーし、デンマークのトップ大学による最先端のR&D施設や12か月間のアクセラレーター・プログラムなど、企業が研究を発展させ商業化するために必要なものは全て提供する。

また、スタートアップと潜在的な投資家を繋ぐ支援として、ビジネスエンジェルやベンチャーキャピタル基金との連携、年次イベント「Aarhus Investor Summit」やスタートアップと投資家のマッチングを目的としたピッチイベント「Gin Tech」の開催、さらに投資家との個別ミーティングのアレンジなどを行っている。

ランキング

99.7
THE: Industry

#15 / 496
Nature Index

J-BRIDGE NAVA

実績

- 従業員：2000名
- パーク内会社数：175社
- 資金調達額：4億5100万DKK (2024)

主要パートナー

- City of Aarhus
- Startup Aarhus
- The Link
- Aarhus University Hospital
- Aarhus University School of Engineering
- Aarhus School of Marine and Technical Engineering
- Energy Cluster Denmark
- Danish Life Science Cluster

WASP

所在地
Linköping, SWEDEN

所属大学
Linköping University

組織カテゴリー
多機関連携プログラム

注力分野

AI
Mobility
Robotics
Engineering

連絡先

Natalie Pintar
Head of Communications

メール
natalie.pintar@liu.se

ウェブサイト
wasp-sweden.org

事業内容

WASP (Wallenberg AI, Autonomous Systems and Software Program) は、スウェーデン最大の個別研究プログラム。AI、自律システム、ソフトウェア開発分野におけるスウェーデンの専門性向上をを目的としている。

本プログラムは産業界および社会に関する3つの研究分野における基礎研究に重点を置いており、博士課程およびポストドクター研究職の資金提供に加え、助教授以上の研究職も支援する。これら研究者は国内の主要大学に分散している。

WASPの重要な柱のひとつは、学術界と産業界の知識移転を促進すること。これを実現するために産学連携の研究プラットフォーム、年間ネットワーキングイベント、概念実証 (PoC) 研究の支援など、さまざまな取り組みが実施されている。

ランキング

95.3
THE: Industry

#108 / 496
Nature Index

J-BRIDGE NAVA

実績

- 2015～2031年の資金調達総額 : 65億SEK
- Knut and Alice Wallenberg Foundationからの支援: 52億SEK
- 博士課程修了者数 : 171名 (2025年2月時点)

主要パートナー

- The Knut and Alice Wallenberg Foundation (主な支援機関)
- Chalmers University of Technology
- Linköping University
- Lund University
- KTH Royal Institute of Technology
- Umeå University

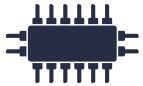
DEVICES AND THINGS ECOSYSTEM

所在地
Oulu, FINLAND

所属大学
University of Oulu

組織カテゴリー
イノベーション・ハブ

注力分野



Microprocessors

連絡先

Oulu Innovation Centre

メール
innovationcentre@oulu.fi

ウェブサイト
devicethings.fi

事業内容

オウルのDevices and Things Ecosystemは、半導体技術、ワイヤレス通信、IoTイノベーションの専門知識が集約されたハブ。かつてのノキアの研究開発拠点を基盤に発展し、研究機関、スタートアップ、既存企業が連携しながらハードウェア開発、組み込みシステム、コネクテッドデバイスの研究を推進している。

このエコシステムの中核を担うのはオウル大学とフィンランド技術研究センター(VTT)で、RF技術、マイクロエレクトロニクス、6G開発などの最先端研究をリードしている。さらにMicronovaクリーンルームやオウルの5G/6Gテストネットワークなどの専門施設も含まれる。高度なワイヤレスの技術とハードウェア設計の専門性を兼ね備えたこのエコシステムは、フィンランドの半導体業界にとって不可欠な存在である。ネットワーク内の企業は、欧州およびアジア全域の製造パートナーと連携しながら、グローバル市場に向けた高性能コンポーネント、センサー、集積回路の開発を進めている。

ランキング

69.7
THE: Industry

#165 / 496
Nature Index

J-BRIDGE NAVA

実績

- 40年以上の経験と成果
- ハードウェア研究者：300名以上
- プロジェクトパートナー企業：100社以上
- 主要研究ユニット：4

主要パートナー

- VTT Technical Research Centre of Finland
- Oulu University of Applied Sciences
- City of Oulu
- 東京エレクトロン
- 信越化学工業
- TSMC（台湾積体電路製造）
- Samsung
- KAIST（韓国科学技術院、韓国の研究パートナー）
- A*STAR（シンガポール科学技術研究庁、シンガポールの研究パートナー）

BIO INNOVATION INSTITUTE

所在地
Copenhagen, DENMARK

所属大学
独立した機関、非営利 (non-profit)

組織カテゴリー
インキュベーター、
アクセラレーター

注力分野

Deeptech

Quantum

Life Science

連絡先

Anders Mønsted
Senior Communications and PR

メール
amo@bii.dk

ウェブサイト
bii.dk

事業内容

BioInnovation Institute (BII) は、ノボ・ノルディスク財団の資金援助によってコペンハーゲンに設立された、ライフサイエンス分野のインキュベーター兼アクセラレーター。アーリーステージのスタートアップや研究プロジェクトを対象に、資金調達、事業開発リソース、最先端の研究設備などを通じて支援を行うほか、有望なベンチャー企業には最大130万ユーロのコンバーティブルローンで支援する。

BIIではワークスペース (Residence) 、アクセラレーター (Venture Lab) 、NATO DIANAと協力したディープテック兼用アクセラレーター (BII Quantum Lab) など、さまざまなサービスを提供している。

治療薬、バイオ産業、ヘルステック分野に特化し、製薬、酵素、医療技術分野におけるデンマークの強みを活かしながら、ライフサイエンス・エコシステムの中核的存在となっている。

ランキング

該当なし
(独立した機関)

J-BRIDGE NAVA

実績

- スタートアップ支援：85社以上
- 高成長スタートアップ100社への助成金：約9,500€
- スタートアップ向け資金提供：4,000万€超
- スタートアップ1社あたり資金提供：最大130万€まで可能
- 追加投資：2億700万€

主要パートナー

- Novo Nordisk Foundation (主要支援機関)
- デンマーク国内　複数の大学
- 出光興産
- アジア開発銀行 (ADB)
- Massachusetts Institute of Technology (MIT)
- University of California
- Ferring Pharmaceuticals

SUNRISE TECH PARK

所在地
Vilnius, LITHUANIA

所属大学
Vilnius University &
Vilnius Gediminas Technical University

組織カテゴリー
イノベーション・ハブ

注力分野

Deeptech
Life Science
Cleantech
AI

連絡先

Laima Balčiūne
CEO

メール
laima@ssmtp.lt

ウェブサイト
ssmtp.lt

事業内容

Sunrise Valley Science and Technology Parkは、Sunrise Valley のナレッジハブ内にあるリトアニアを代表するイノベーション・ハブ。45ヘクタールの敷地に2万人を超える学生、5,000人の科学者・研究者を擁する主要大学が集まり、4つのオープンアクセス研究センターも併設されている。

本パークではバイオテクノロジー、クリーンテック、インダストリー4.0の領域でさまざまなインキュベーターを運営している。2025年に開始されたクリーンテック・クラスターのインキュベーター・プログラムでは、気候テック系スタートアップを対象に、6ヶ月間の集中トレーニングと開発支援を行う。国内にある2か所のCERNビジネス・インキュベーターのうち、1つはSunrise Valleyに拠点を構えている。

ランキング

45.9
THE: Industry

#233 / 496
Nature Index

J-BRIDGE NAVA

実績

- 急成長した企業：423社
- スピンアウト：210件
- 企業家精神、テクノロジーとイノベーションに関するプロジェクトの実施：56件
- 誘致投資額：1.8億€

主要パートナー

- Vilnius University
- Vilnius Tech
- Lithuanian Private Equity and Venture Capital Association
- Beamline accelerator
- Riga Technology University
- Aalto University
- CERN Venture connect'
- EIT Digital

KONGSBERG INNOVASJON

所在地
Kongsberg, NORWAY

所属大学
独立した機関

組織カテゴリー
イノベーション・ハブ

注力分野

- Deeptech
- Marinetech
- Cleantech
- Climatetech
- Defence / Dualtech

連絡先

Mats Hagland
COO

メール
mats.hagland@k-i.no

ウェブサイト
kongsberginnovasjon.no

事業内容

Kongsberg Innovasjonは、ノルウェーを代表する民間・産業主導型のイノベーションハブ。マリンテック、クリーンテック、エネルギー、防衛、航空宇宙などの分野でのディープテックの商業化に特化している。

ここではアーリーステージの資金調達 (€20万〜200万) をはじめ、業界のベテランによるメンタリング、300社以上の企業ネットワークへのアクセスを通じて、包括的な支援を提供。産業界の専門知識、ベンチャーキャピタル、学術機関との連携を融合し、技術開発に最適な環境を整えている。

また、ノルウェーのイノベーション・エコシステムの中核として、地域クラスターやノルウェー主要インパクト投資家であるKatapultと連携。2022年にはDeeptech Allianceに加盟し、国際的なネットワークを拡大中。

ランキング

該当なし
(独立した機関)

J-BRIDGE NAVA

実績

- アイデア評価：1,000件以上
- スタートアップインキュベーター：100社以上
- 継続中の投資：20件以上
- エクイティ資金調達：5億NOK以上 (2017〜2022年)
- イノベーション支援：1億NOK以上 (2017〜2022年)

主要パートナー

- Equinor
- Kongsberg Group
- TechnipFMC
- DeepTech Alliance
- NTNU university
- SINTEF
- Norwegian Battery Value Chain

TEHNOPOL SCIENCE PARK

所在地
Tallinn, ESTONIA

所属大学
Tallinn University of Technology (TalTech)

組織カテゴリー
サイエンスパーク、イノベーション・ハブ

注力分野

Deeptech
Life Science
Smart city
Spacetech

連絡先

Martin Gorosko
Head of Business Service

メール
martin.gorosko@tehnopol.ee

ウェブサイト
tehnopol.ee

事業内容

Tehnopol Science and Business Parkは、バルト地域最大のサイエンスパーク。55,000m²を超える敷地内で、毎年エストニアの新規スタートアップの半数がここでインキュベートされている。タリン工科大学 (Tallinn University of Technology) のキャンパス内に位置し、共同研究プロジェクト、専門ラボ、学生インターンシッププログラム、共同イノベーションの取組みを通じて知識移転を促進している。

Tehnopol Startup Incubatorでは、ディープテック分野のインキュベーション・サービスを提供しており、NATO DIANA (デュアルユース) 、ESA BIC (宇宙) 、Cyber Accelerator、AI Acceleratorなど、多岐に渡るプログラムを展開。これまでに800社以上のスタートアップを輩出してきた。

その影響はエストニア国内にとどまらず、スタートアップの海外市場参入や国際投資の誘致を支援し、エストニア経済の成長に貢献している。

ランキング

58.9
THE: Industry

#330 / 496
Nature Index

J-BRIDGE NAVA

実績

- エストニアの新規スタートアップのインキュベーター率: 50%
- サイエンスパーク内での事業展開: 200社以上
- スタートアップ支援: 年間100社以上
- アクセラレーションプログラム参加のスタートアップ: 80社
- 2024年の投資総額: 2,200万€
- 成功率: 65%

主要パートナー

- Tallinn 市
- ESTBAN (Estonian Association of Business Angels)
- EEN (Enterprise Europe Network)
- IASP (International Association of Science Parks)

AAU INNOVATE

所在地
Aalborg, DENMARK

所属大学
University of Aalborg

組織カテゴリー
イノベーション・ハブ

注力分野

Life Science

Climatetech

Cleantech

連絡先

Mads Bang
CEO

メール
madsbang@adm
.aau.dk

ウェブサイト
AAU Innovate.dk

事業内容

AAU INNOVATEは、オールボー大学を拠点とする、デンマーク有数のイノベーションハブ。北ユトランド地域に広がる再生可能エネルギー・プロジェクトのエコシステムを活かして活動している。この地域は、風力発電用ブレードの試験で世界的に知られるほか、国内で最も先進的な二酸化炭素回収・貯留プログラムの拠点でもある。さらに、大学とその周辺のエコシステムは、電気通信、宇宙、ライフサイエンス分野の優良企業の誘致と育成にも成果を上げています。

AAU INNOVATEは、こうしたエコシステムに加え、問題解決型の学習モデルで知られる豊富な実績と、産業界との強力な連携を基盤に、研究成果の商業化や学生スタートアップの創出を支援している。2023年には、国内の大学から公式に登録されたスピンアウト企業のうち、30%以上が当ハブから生まれている。8,500㎡の敷地内には研究室やインキュベータースペースが整備されており、「AAUスタートアップ・プログラム」では、エネルギー関連企業へのアクセス、各種起業助成金、オフィススペースの提供、メンタリングなど、幅広い支援を行っている。

ランキング

87.6
THE: Industry

#182 / 496
Nature Index

J-BRIDGE NAVA

実績

- デンマーク全大学の公式スピンアウト企業に占めるAAU創出スタートアップの割合：30%
- AAU創出スタートアップによる北ユトランド地への経済貢献：11億DKK
- AAU創出スタートアップによる雇用創出：1,488件
- フルタイム換算での雇用効果：2,010人分

主要パートナー

- Business Aalborg
- Beyond Beta Accelerator (国内最大のアクセラレータープログラム)
- EIFO (デンマーク輸出投資基金)
- Clean Cluster
- NOVI Business park

LEAD

所在地
Linköping, SWEDEN

所属大学
Linköping University

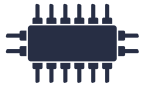
組織カテゴリー
インキュベーター、
アクセラレーター

注力分野


Life Science


Engineering


Robotics


Microprocessors


Defence / Dualtech

連絡先


メール
info@lead.se


ウェブサイト
LEAD.se

事業内容

LEADは、スウェーデンを代表する大学発インキュベーターの一つで、B2Bスタートアップに特化した唯一のインキュベーターとして知られる。リンシェーピン大学をはじめ、政府・軍事系の研究機関や、周辺産業からスタートアップを発掘し、 ライフサイエンス、ICT、マイクロエレクトロニクス、ビジュアライゼーションなど、多様な分野の革新的な企業が集うエコシステムを育成している。

スタートアップは、12〜18か月にわたる包括的なプログラムのもと、専属のビジネスコーチング、オフィススペース、業界の専門家や投資家とのネットワークなど、成長に不可欠なリソースの支援を受けることができる。スタートアップの成長段階に応じて、プレインキュベーター型の「Business Lab」や、より集中的なインキュベート・プログラムも用意されている。

なお、スウェーデンの有望なスタートアップを毎年選出する「33 List」には、LEADから生まれた企業が最も多く選ばれている。

ランキング

95.3
THE: Industry

#108 / 496
Nature Index

J-BRIDGE NAVA

実績

- スタートアップ支援：300社以上
- 継続中の修了スタートアップ：69社
- 職員：1,374人
- 総売上高：25億SEK
- LEAD企業：32社 (2024)
- 事業存続率：70%

主要パートナー

- Linköping 自治体
- Norrköping 自治体

ODENSE ROBOTICS

所在地
Odense, DENMARK

所属大学
独立した機関、非営利 (non-profit)

組織カテゴリー
インキュベーター、
アクセラレーター

注力分野



連絡先

メール
info@odenserobotics.dk

ウェブサイト
odenserobotics.dk

事業内容

Odense Roboticsはオーデンセ地域をヨーロッパ屈指のロボティクスハブへと発展させた、デンマークを代表するロボティクスクラスター。Universal Robots社をはじめとする先駆的企業のレガシーを基に、現在ではロボティクス、オートメーション、ドローン技術に特化した約130の企業、研究機関、大学が参加している。

スタートアップから既存企業まで幅広く支援し、専門分野向け資金支援、人材育成プログラム、コラボレーションスペースの提供、国際市場への展開支援などを通じて、製造の自動化、医療用ロボティクス、農業技術分野のイノベーションを推進している。

またクラスター内のスタートアップは海外投資家からの注目も高く、Blue Ocean Roboticsのようにユニコーン企業にまで成長した企業もある。日本、韓国、シンガポールのロボティクス・クラスターとの国際提携にも積極的に取り組んでいる。

ランキング

該当なし
(独立した機関)

J-BRIDGE NAVA

実績

- デンマーク国内の主要拠点に5つのハブ
- 国内の企業：300社
- 会員企業：350社以上
- 2022年までにクラスター企業に10億ユーロ以上を投資
- クラスターの43%が協働ロボットと移動ロボットに取り組んでいる

主要パートナー

- 日本ロボット工業会
- Singapore National Robotics Programme
- Seoul Robotics Cluster
- Pittsburgh Robotics Network
- デンマーク産業財団 (Danish Industry Foundation
- デンマークの複数の大学

作成

NAVA Nordic Asian Venture Alliance

委託元

JETRO Japan External Trade Organization

運営

ASIA HOUSE

COPENHAGEN CAPACITY

Stockholm The Capital of Scandinavia

Helsinki Partners Helsinki

www.nordicasian.vc